

第5 記入要領及び記入例

1 記入要領

(法第5条第1項の規定(有害物質の使用なし)による設置届出の場合)

様式第1 (第3条関係) (表面)

特定施設(有害物質貯蔵特定施設)設置(使用、変更)届出書

令和 年 月 日

〇〇保健所長 殿

沖縄県〇〇市字〇〇111番地

(有)〇〇ファーム

代表取締役 沖繩 太郎

(098-0000-0000)

水質汚濁防止法第5条第1項、第9項又は第9項(第6条第1項又は第2項、第7条)の規定により、特定施設(有害物質貯蔵特定施設)について、次のとおり届け出ます。

届出の内容により、不要な箇所及び条文は二重線で消してください。なお、各条文に規定する届出の内容は以下のとおりです。
 第5条第1項：特定施設(有害物質使用特定施設を含む)の設置届出
 第5条第2項：有害物質使用特定施設に係る汚水等を地下浸透させる有害物質使用特定施設の設置届出
 第5条第3項：有害物質貯蔵特定施設等の設置届出
 第6条第1項～第3項：使用届出
 第7条：構造等変更届出

工場又は事業場の名称	(有)〇〇ファーム 〇〇農場	※整理番号
工場又は事業場の所在地	沖縄県〇〇村字〇〇777番地	※受理年月日
特定施設の種別	102 イ 11 イ	※施設番号
有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	※審査結果
△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考
△特定施設の設備(有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。	
△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。	
△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。	
△排水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。	
△排水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。	
△排水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。	
有害物質使用特定施設の種別		
△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。	
△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。	
△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。	
△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。	

届出者が個人の場合は事業者の住所・氏名を、法人の場合は法人所在地、法人名及び代表者の氏名を記入してください。
 なお、届出者の氏名は旧姓を併記することができます。
 記載例：環境「沖繩」太郎(沖繩太郎が環境太郎に改姓した場合)

特定施設を設置等しようとする工場等の名称及び住所を記入してください。

令別表第一に掲げる号番号及び名称(詳細は5P～13Pの表1を参照)を記載してください。

有害物質使用特定施設に該当しない場合は「無」にチェックを入れてください。

届出の内容により、不要な欄は斜線で消してください。

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設	
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。	
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。	
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。	
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。	

法第5条第3項に関係する施設以外は記載不要です。斜線で欄を消してください。

なお、法第5条第3項による届出のうち、有害物質使用特定施設に係るものは合流式の下水道等に雨水を含めたすべての排出水を排出するなど、公共用水域への排水が一切ない施設が対象です。沖縄県内の下水道は分流式（雨水はそのまま公共用水域に放流し、下水のみを終末処理場で処理する方式の下水道）となっているため、法第5条第3項による届出は原則として有害物質貯蔵指定施設に係る届出のみとなります。

- 備考 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
- 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
- 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
- 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 5 ※印の欄には、記載しないこと。
- 6 排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
- 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	豚舎 1~4	堆肥舎 1
特定施設番号及び名称	1の2 イ	11 イ
型式	糞尿分離式	乾燥堆肥施設
構造	コンクリートブロック造	コンクリートブロック造
主要寸法	W 〇〇m × L 〇〇m × H 〇〇m 〇〇 m ²	W 〇〇m × L 〇〇m × H 〇〇m 〇〇 m ²
能力	飼育頭数 〇〇 頭	堆肥生産量 1 t/日
配置	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	令和〇〇年〇月〇日	令和〇〇年〇月〇日
工事完成予定年月日	令和〇〇年〇月〇日	令和〇〇年〇月〇日
使用開始予定年月日	令和〇〇年〇月〇日	令和〇〇年〇月〇日
その他参考となるべき事項		

工場等で付けている施設番号又は通し番号等を記入してください。また、別紙 2~6 及び添付図面等においても、同じ施設番号を記入してください。

令別表第一に掲げる号番号及び名称（詳細は 5P~13P の表 1 を参照）記入してください。

施設の形式や、機械等の場合はメーカー名等を記入してください。

施設の構造材料及び材質等を記入してください。また、施設に関する構造図、カタログ・資料等を添付してください。

特定施設の時間あたり又は一日当たりの処理能力等を記入してください。

特定施設の配置場所を明示した工場又は事業場の配置図を添付してください。

設置届出の場合は設置年月日の記入は不要です。

特定施設の設置に係る工事着手、完成及び使用開始の予定年月日を記載してください。

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

特定施設の使用方法

工場又は事業場における施設番号	堆肥舎 1	豚舎 1~4	堆肥舎 1
特定施設番号及び名称	11 イ	1の2 イ 豚房施設	11 イ
設置場所	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり
操業の系統	別添操業系統図のとおり	別添操業系統図のとおり	別添操業系統図のとおり
使用時間間隔	通年使用	通年使用	通年使用
1日当たりの使用時間	24時間	24時間	24時間
使用の季節的変動	なし	なし	なし
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	洗浄水 ○○ m ³ 飼料 ○○ kg オガコ ○○ kg	洗浄水 ○○ m ³ 飼料 ○○ kg オガコ ○○ kg	豚ふん ○t オガコ ○○ kg
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常 最大	通常 最大
	PH BOD SS 大腸菌数 NH ₄ NO ₂ NO ₃ -N T-P T-N	通常 6~7 最大 2000 3000 4000 >800 500 100 800	通常 6~7 最大 3000 6000 >800 800 200 1000
汚水等の量 (m ³ /日)	通常 30 最大 45	通常 0 最大 0	通常 0 最大 0
その他参考となるべき事項	余剰水分はオガコにて固定。排水無し。		

別紙1と同様に記載してください。

特定施設を含む操業の系統(工場等の場合は製造工程等)をフローチャート等で記入してください。欄内の記入が困難な場合は、別紙に記入した資料を添付し、欄内には「別添○○のとおりに」と記入してください。

使用時間間隔当を記載してください。旅館業や製造業等において、季節によって稼働時間が変わる場合は、具体的に「繁忙期(5月、7~8月)の使用量は約2倍」等記入してください。

pHやBOD等規制対象項目や使用水量に影響を与えるものについて、具体的に記載をお願いします。

pHやBOD等規制対象項目のうち、当該特定施設から排出される汚水等に含まれている項目について、通常値及び最大値を記入してください。また、汚水の汚染状態については実測値のほか、浄化槽製造メーカー等からの情報や参考文献をもとに記入することもできます。参考文献等を使用した場合は、出典の記載をお願いします。

汚水量を記入してください。

その他施設の使用にあたり特記すべき事項があれば記入してください。

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場に おける施設番号	排水処理施設	浄化槽 1	
処理施設の設置場所	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり	
設置年月日	平成〇〇年〇月〇日	平成〇〇年〇月〇日	
工事着手予定年月日	平成〇〇年〇月〇日	平成〇〇年〇月〇日	
工事完成予定年月日	平成〇〇年〇月〇日	平成〇〇年〇月〇日	
使用開始予定年月日	平成〇〇年〇月〇日	平成〇〇年〇月〇日	
種類及び型式			
構造	別添構造図のとおり	別添構造図のとおり	
主要寸法	別添構造図のとおり	別添構造図のとおり	
能力	20 m ³ /日	5人槽 処理能力 1.0 m ³	
処理の方法	回転式活性汚泥法		
集水及び導水の方法	別添集水・導水図のとおり	別添集水・導水図のとおり	
使用時間間隔	1日20時間運転4時間停止	一日24時間運転	
使用の季節変動	無し	無し	
消耗資材の1日当たりの 用途別使用量	汚泥凝集剤 ○ kg/月 消毒剤 ○ kg/月	消毒剤 ○ kg/日	
汚水等の汚染状態及び 汚染水質及び水量	種類・項目	最大 処理前後	最大 処理前後
	種類・項目	通常 処理前後	通常 処理前後
	PH	6~7	6~7
	BOD	2000	100
	SS	4000	120
	大腸菌数	>800	6000
	NH ₄ NO ₂ -N	500	>800
	T-P	100	80
	T-N	800	200
	量 (m ³ /日)	10	1000
		20	120
残さの種類、1月間の種類 別生成量及び処理方法	余剰汚泥 ○ t/月 余剰汚泥は堆肥倉にて堆肥化	0.2	0.2
排出水の排出方法	〇〇川へ放流	0.2	0.2
その他参考となるべき事項			

事業場に設置されている汚水等を処理する設備について、別紙1~2と同様に記入してください。
特定施設からの排水を処理しない汚水処理施設（事務所に設置され、従業員の生活排水のみを処理する浄化槽等）についても、記入してください。

浄化槽であれば浄化槽の型式適合認定証別添仕様書及び図面の写し、グリーストラップ等その他の処理施設であればその構造がわかる図面を添付してください。

特定施設以外から排出される水の建築物の雨水を含む排水配管図を添付してください。

汚水の処理に使用する資材等を記入してください。

pHやBOD等規制対象項目のうち、当該特定施設から排出される排水等に含まれている項目について、通常値及び最大値を記入してください。
また、汚水の汚染状態については実測値のほか、浄化槽製造メーカー等からの情報や参考文献をもとに記入することもできます。参考文献等を使用した場合は、出典の記載をお願いします。

余剰汚泥等、排水処理で発生する残さについて、1か月間の発生量及び処理方法を記入してください。

放流先河川名等を記入してください。

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水にかかると排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号	排水口 1		雨水	
	通常	最大	通常	最大
種類・項目				
排水水の汚染状態	PH	6~7	6~7	
	BOD	100	120	
	SS	120	120	
	大腸菌数	<800	<800	
	NH ₄ NO ₂ NO ₃ -N	80	100	
	T-P	20	25	
T-N	100	120		
排水水の量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	最大
	10.2	20.2	0	0
その他参考となるべき事項				

全ての排水口（雨水等特定移設以外の排水しか排出しない排水口も含む）に通し番号等を付し記入してください。

pHやBOD等規制対象項目のうち、当該特定施設から排出される汚水等に含まれている項目について、通常値及び最大値を記入してください。
なお、ここで記入した項目は1年に1回以上測定し、その結果を記録・保存しなければなりません。その他の項目については必要に応じて測定を行なってください。

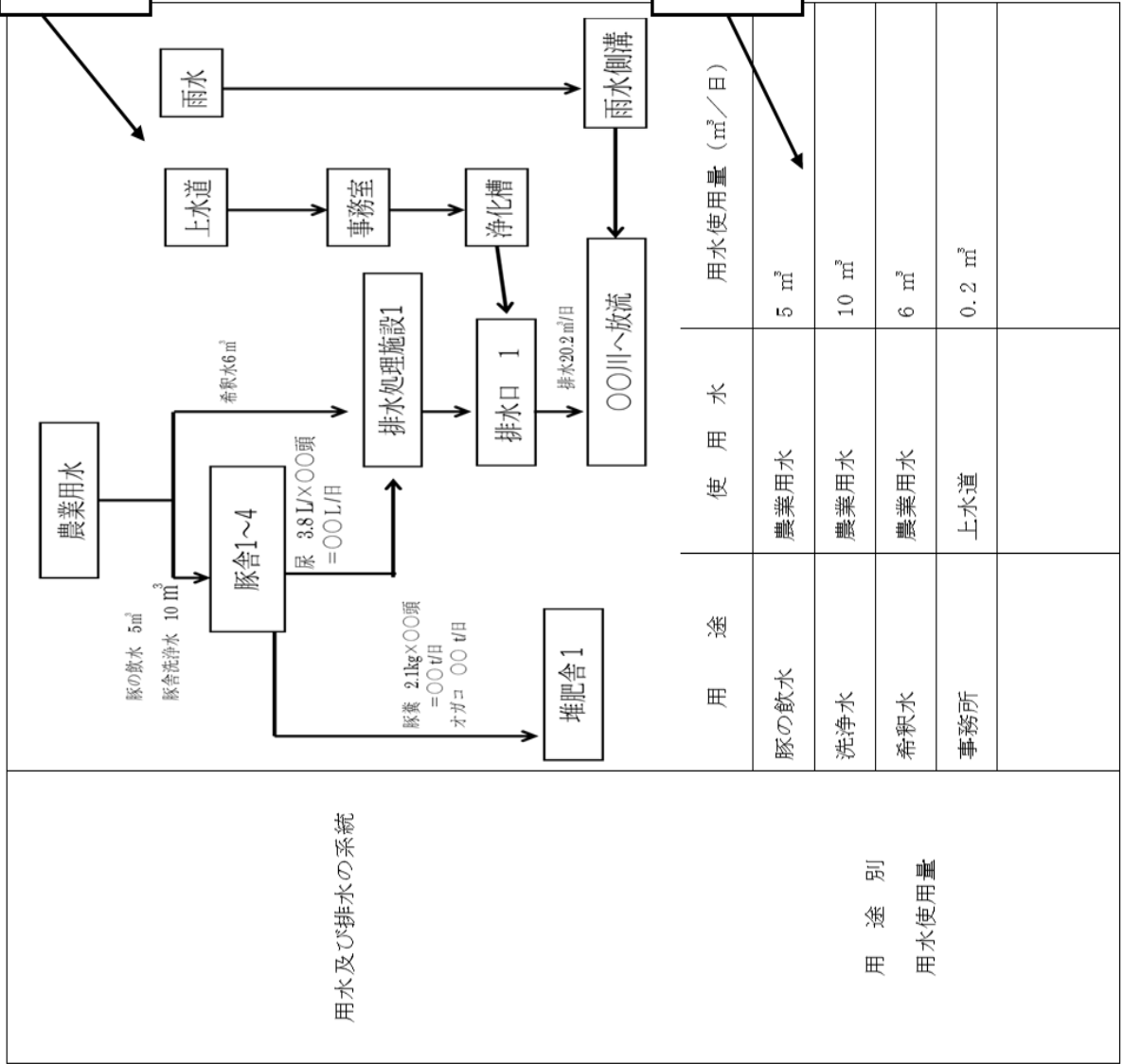
排水水の量を記入してください。下水道に放流する場合も、記入してください。
なお、雨水については、晴天時に排水が無い場合は、排水の量の欄に「0」と記入してください。

雨水以外の排水を全量下水道に放流する施設の場合は、その他参考となるべき事項欄に「上記汚水については公共下水道へ排出」等記載してください。

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

用水及び排水の系統

事業所における用水及び排水の系統図及び水量の値を記入してください。欄内の記入が困難な場合は、別紙に記入した資料を添付し、欄内には「別添〇〇のとおり」と記入してください。



用水及び排水の系統

工場又は事業場で使用する水の使用用途別（洗浄水、冷却水等）を記入してください。また、使用水の種類（水道水、農業用水、工業用水等）を記入してください。

用途	使用水	用水使用量 (m ³ /日)
豚の飲水	農業用水	5 m ³
洗浄水	農業用水	10 m ³
希釈水	農業用水	6 m ³
事務所	上水道	0.2 m ³

用途別
用水使用量

(法第5条第1項の規定(有害物質使用特定施設)による設置届出の場合)

様式第1 (第3条関係)(表面)

届出の内容により、不要な箇所及び条文は二重線で消してください。なお、各条文に規定する届出の内容は以下のとおりです。

第5条第1項：特定施設(有害物質使用特定施設を含む)の設置届出

第5条第2項：有害物質使用特定施設に係る汚水等を地下浸透させる有害物質使用特定施設の設置届出

第5条第3項：有害物質貯蔵指定施設等の設置届出

第6条第1項～第3項：使用届出

第7条：構造等変更届出

届出者が個人の場合は事業者の住所・氏名を、法人の場合は法人所在地、法人名及び代表者の氏名を記入してください。

なお、届出者の氏名は旧姓を併記することができます。

記載例：環境「沖繩」太郎(沖繩太郎が環境太郎に改姓した場合)

特定施設を設置等しようとする工場等の名称及び住所を記入してください。

令別表第一に掲げる番号及び名称(詳細は5P～13Pの表1を参照)を記載してください。

有害物質使用特定施設に該当する場合は「有」にチェックを入れてください。

届出の内容により、不要な欄は斜線で消してください。

令和 年 月 日

届出者
市区町-2-3
 一般社団法人研究所
 理事長 沖繩 太郎

水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項(第6条第1項又は第2項、第7条第1項の規定により、特定施設(有害物質貯蔵指定施設)について、次のとおり届出します。

工場又は事業場の名称	○×△研究所	※整理番号	年 月 日
工場又は事業場の所在地	○○市□□1-2-3	※受理年月日	
特定施設の種別	71の2 科学技術に関する研究、試験、検査の業務の用に供する施設、 イ、廃浄施設	※施設番号	
有害物質使用特定施設該当の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	※審査結果	
△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考	
△特定施設設備(有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。		
△特定施設使用の方法	別紙2のとおり。		
△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
△排水水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
△排水水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
△排水水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。		
有害物質使用特定施設の種類			
△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
△有害物質使用特定施設使用の方法	別紙8のとおり。		
△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

第5条第1項関係

第5条第2項関係

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設	
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。	
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。	
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。	
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。	

法第5条第3項に関係する施設以外は記載不要です。斜線で欄を消してください。

なお、法第5条第3項による届出のうち、有害物質使用特定施設に係るものは合流式の下水道等に雨水を含めたすべての排出水を排出するなど、公共用水域への排水が一切ない施設が対象です。沖縄県内の下水道は分流式（雨水はそのまま公共用水域に放流し、下水のみを終末処理場で処理する方式の下水道）となっているため、法第5条第3項による届出は原則として有害物質貯蔵指定施設に係る届出のみとなります。

- 備考 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
- 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
- 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
- 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 5 ※印の欄には、記載しないこと。
- 6 排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
- 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	No. 1 流し台	No. 2 流し台	工場等で付けている施設番号又は通し番号等を記入してください。また、別紙 1-2～6 及び添付図面等において、同じ施設番号を記入してください。
特定施設番号及び名称	7 1 の 2 イ. 洗浄施設	7 1 の 2 イ. 洗浄施設	令別表第一に掲げる号番号及び名称（詳細は 5 P～13 P の表 1 を参照）記入してください。
型式	流し台（2層シンク）ABC型	流し台（2層シンク）ABC型	施設の型式、構造材料及び材質等を記入してください。また、施設に関する構造図、資料等を添付してください。
構造	本体：ポリエステル樹脂化粧板 流し：ステンレスSUS304 配管：硬質塩化ビニル 幅1500mm×奥行750mm×高さ930mm (流し有効寸法 W1428×D560×深230)	本体：ポリエステル樹脂化粧板 流し：ステンレスSUS304 配管：硬質塩化ビニル 幅1500mm×奥行750mm×高さ930mm (流し有効寸法 W1428×D560×深230)	なお、これらの内容を満たす書類を添付する場合は、当枠内を「別添資料のとおり」と記載してもかまいません。
主要寸法	幅1500mm×奥行750mm×高さ930mm (流し有効寸法 W1428×D560×深230)	幅1500mm×奥行750mm×高さ930mm (流し有効寸法 W1428×D560×深230)	洗浄施設など、能力の記載が難しい施設については、空欄とするか1日あたりの処理検体数を記載してください。
能力	—	—	
配置	別紙 平面図のとおり	別紙 平面図のとおり	特定施設の配置場所を明示した工場又は事業場の配置図を添付してください。 なお、有害物質を使用する場所については、平面図にその旨の記載をお願いします。
設置年月日	年—月—日	年—月—日	設置届出の場合は設置年月日の記入は不要です。
工事着手予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	特定施設の設置に係る工事着手、完成及び使用開始の予定年月日を記載してください。
工事完成予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	
使用開始予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	
その他参考となるべき事項		有害物質使用特定施設 床面：コンクリート +ビニルエステル樹脂系塗り床剤 3.5mm	

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	No.1 流し台	No.2 流し台		
特定施設番号及び名称	71の2 イ. 洗浄施設 別紙 平面図のとおり	71の2 イ. 洗浄施設 別紙 平面図のとおり		
設置場所	別紙のとおり	別紙のとおり		
操業の系統	別紙のとおり	別紙のとおり		
使用時間間隔	8:00~18:00	8:00~20:00		
1日当たりの使用時間	8時間	10時間		
使用の季節的変動	季節変動なし	夏季に多い		
原材料 (消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	硫酸 約0m l 硝酸銀 約0g 過マンガン酸カリウム溶液 約0m l	別紙 使用試薬一覧のとおり		
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	
	pH BOD SS その他 ※排出の恐れのある生活環境項目 有害物質28項目 ※有害物質28項目については、使用しているものの(使用試薬に含有されているもの)について記載する。	通常	最大	
汚水等の量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	最大
その他の参考となるべき事項	1.0	1.3	0.5	0.7

別紙1と同様に記載してください。

特定施設を含む操業の系統(工場等の場合は製造工程等)をフローチャート等で記入してください。欄内の記入が困難な場合は、業務内容の系統図や事業場のパンフレットを添付し、欄内には「別添〇〇のとおり」等と記入してください。

使用時間間隔を記載してください。
季節によって稼働時間が変わる場合は、具体的に「繁忙期(5月、7~8月)の使用量は約2倍」等記入してください。

洗浄施設等においては、原材料の記載は事業場で用いている試薬一覧を添付してもかまいません。
なお、使用薬剤リストについて、水質汚濁防止法では、有害物質が不純物として含まれているものについては記載不要です。

排水基準が定められている項目のうち、当該特定施設から排出される汚水等に含まれている項目について、通常値及び最大値を記入してください。
また、汚水の汚染状態については実測値のほか、浄化槽製造メーカー等からの情報や参考文献をもとに記入することもできます。参考文献等を使用した場合は、出典の記載をお願いします。

汚水量を記入してください。

その他施設の使用にあたり特記すべき事項があれば記入してください。
例：実験器具等使用後の一次及び二次洗浄水は回収して産廃処理。三次処理水のみ流し台に流すが、有害物質は含まれていない。

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	No.3 除害施設			
	別紙 平面図のとおり	年 月 日	年 月 日	年 月 日
処理施設の設置場所				
設置年月日	令和〇年 5月 10日			
工事着手予定年月日	令和〇年 3月 31日			
工事完成予定年月日	令和〇年 4月 1日			
使用開始予定年月日				
種類及び型式	〇〇型 ()			
構造	構成材料等を記載。 例) コンクリート製、FRP製など			
主要寸法	処理施設の縦、横、深さ、容量等を記載。 例) 〇mm×△mm×□mm (〇㎡) など			
能力	1時間又は1日当たりの汚水処理能力を記載。 例) 1㎡/時、3㎡/日など			
処理の方式	「中和処理法」、「凝集沈降法」、「活性汚泥法」などを記載。			
集水及び導水の方法	処理施設までの排水経路等を記載。			
使用時間間隔	連続 (24時間)			
使用の季節変動	季節変動なし			
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	希硫酸 ○L、水酸化ナトリウム溶液 △L、亜硫酸水素ナトリウム □L			
種類・項目 pH BOD SS その他 ※排出の恐れのある生活排水項目 有害物質2.8項目 ※有害物質2.8項目については、使用しているもの(使用試験に含有されているもの)について記載する。	通常	最大	通常	最大
	処理前 処理後	処理前 処理後	処理前 処理後	処理前 処理後
汚水等の汚染状態及び量	1.5	1.5	2.0	2.0
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	スラッジ ○kg/月 産業廃棄物として委託処理 (可能であれば、契約業者名も記載する。) 処理施設→下水道→〇〇浄化センター 雨水放流口 ○箇所→側溝→□川			
排水水の排出方法				
その他参考となるべき事項				

事業場に設置されている汚水等処理する設備について、別紙 1～2と同様に記入してください。
特定施設からの排水を処理しない汚水処理施設(事務所に設置され、従業員の生活排水のみを処理する浄化槽等)についても、記入してください。

浄化槽であれば浄化槽の型式適合認定証別添仕様書及び図面の写し、グリートストラップ等その他の処理施設であればその構造がわかる図面を添付してください。

特定施設以外から排出される水の建築物の雨水を含む排水配管図を添付してください。なお、排水配管図において、有害物質に係るものについては色分けを行うなど、通常の排水管と区別してください。

汚水の処理に使用する資材等を記入してください。

pHやBOD等規制対象項目のうち、当該特定施設から排出される排水等に含まれている項目について、通常値及び最大値を記入してください。
また、汚水の汚染状態については実測値のほか、浄化槽製造メーカー等からの情報や参考文献をもとに記入することもできます。参考文献等を使用した場合は、出典の記載をお願いします。

処理前、処理後の排水について、左記の項目の予測値を記載又は類似施設の排水について測定し、その結果を記載もしくは添付していただきません。

余剰汚泥等、排水処理で発生する残さについて、1か月間の発生量及び処理方法を記入してください。

放流先河川名等を記入してください。

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水にかかる排水基準に定められた事項について記載すること。
2 排水水の排出方法の欄には、排水口の位置及び並びに排出先を含め記載すること。

排出水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号	No. 4 公共下水道		No. 5 雨水	
	通常	最大	通常	最大
種類・項目				
pH BOD SS その他 ※排出の恐れのある生活環境項目 有害物質28項目 日 ※有害物質28項目 については、使用しているもの(使用試薬に含有されているもの)について記				
	排出水の汚染状態			
排出水の量 (m ³ /日)	通常 2.0	最大 3.0	通常 0	最大
その他参考となるべき事項	上記汚水については公共下水道へ排出。		雨水排水出口 ○箇所	

全ての排出口（雨水等特定施設以外の排水しか排出しない排出口も含む）に通し番号等を付し記入してください。

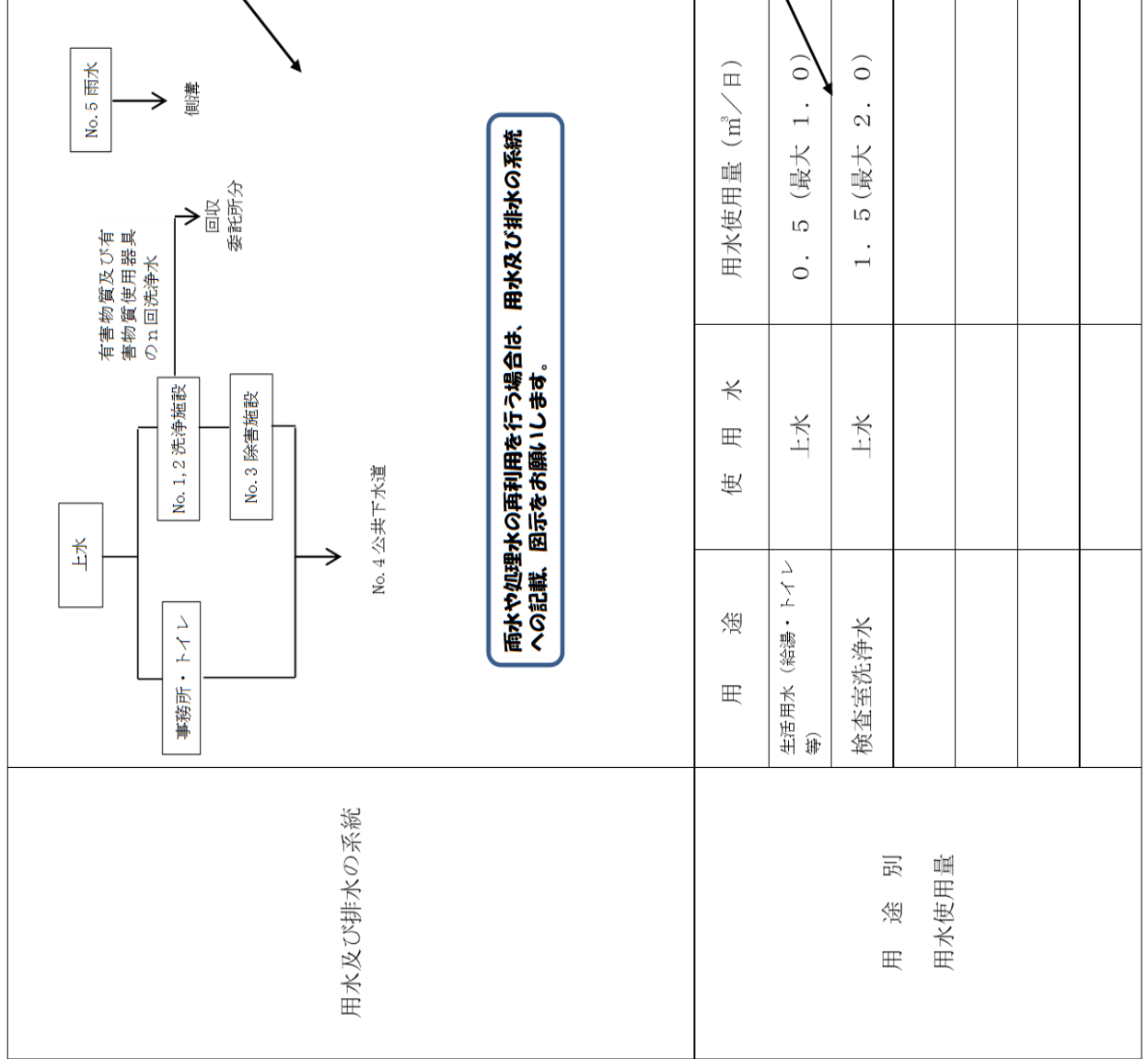
規制対象項目のうち、当該特定施設から排出される汚水等に含まれている項目について、通常値及び最大値を記入してください。生活環境項目については、市町村下水道課へ提出した値を記入してもかまいません。

排出水の量を記入してください。なお、雨水については、晴天時に排水が無い場合は、排水の量の欄に「0」と記入してください。

雨水以外の排水を全量下水道に放流する施設の場合は、その他参考となるべき事項欄に「上記汚水については公共下水道へ排出」等記載してください。

備考 排出水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

用水及び排水の系統



事業所における用水及び排水の系統図及び水量の値を記入してください。欄内の記入が困難な場合は、別紙に記入した資料を添付し、欄内には「別添〇〇のとおり」等と記入してください。また、雨水や処理水の中水利用を行う場合も、当該系統図への記載及び図示してください。

工場又は事業場で使用する水の使用用途別（洗浄水、冷却水等）に使用水量を記入してください。また、使用水の欄には、使用する水の種類（水道水、農業用水、工業用水等）を記入してください。

雨水や処理水の再利用を行う場合は、用水及び排水の系統への記載、図示をお願いします。

用途別 用水使用量	用途	使用水	用水使用量 (m ³ /日)
	生活用水 (給湯・トイレ等)	上水	0. 5 (最大 1. 0)
	検査室洗浄水	上水	1. 5 (最大 2. 0)

2 設置届出記入例

(養豚)

様式第 1 (第 3 条関係) (表面)

特定施設 (~~有害物質貯蔵指定施設~~) 設置 (~~使用、変更~~) 届出書

令和 年 月 日

〇〇保健所長 殿

沖縄県〇〇村字〇〇〇〇番地

(有) 〇〇ファーム代表取締役 沖縄 太郎

届出者 電話番号 (098-〇〇〇-〇〇〇)

担当者 (〇〇)

水質汚濁防止法第 5 条第 1 項、~~第 2 項又は第 3 項 (第 6 条第 1 項又は第 2 項、第 7 条)~~ の規定により、特定施設 (~~有害物質貯蔵指定施設~~) について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		(有) 〇〇ファーム 〇〇農場	<div style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> 堆肥を製造・販売する場合 11 イも記入してください </div>
工場又は事業場の所在地		沖縄県〇〇村字〇〇 7 番地	
第 5 条第 1 項関係	特定施設の種類の	1 の 2 イ 11 イ	※施設番号
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	※審査結果
	△特定施設の構造	別紙 1 のとおり。	※備考
	△特定施設の設備 (有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙 1 の 2 のとおり。	
	△特定施設の使用の方法	別紙 2 のとおり。	
	△汚水等の処理の方法	別紙 3 のとおり。	
	△排出水の汚染状態及び量	別紙 4 のとおり。	
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙 5 のとおり。	
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙 6 のとおり。		
第 5 条第 2 項関係	有害物質使用特定施設の種類の		
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙 7 のとおり。	
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙 8 のとおり。	
	△汚水等の処理の方法	別紙 9 のとおり。	
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙 10 のとおり。	
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙 11 のとおり。	

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

別紙1

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	豚舎 1~4	堆肥舎 1
特定施設号番号及び名称	1の2 イ	11 イ
型 式	糞尿分離式	乾燥堆肥施設
構 造	コンクリートブロック造	コンクリートブロック造
主要寸法	W ○○m × L ○○m × H ○ ○m ○○ m ²	W ○○m × L ○○m × H ○ ○m ○○ m ²
能 力	飼育頭数 ○○ 頭	堆肥生産量 1 t/日
配 置	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり
設置年月日	年——月——日	年——月——日
工事着手予定年月日	令和○○年○月○日	令和○○年○月○日
工事完成予定年月日	令和○○年○月○日	令和○○年○月○日
使用開始予定年月日	令和○○年○月○日	令和○○年○月○日
その他参考となるべき事項		

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	豚舎 1~4	堆肥舎 1			
特定施設号番号及び名称	1の2 イ 豚房施設	11 イ			
設置場所	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり			
操業の系統	別添操業系統図のとおり	別添操業系統図のとおり			
使用時間間隔	通年使用	通年使用			
1日当たりの使用時間	24時間	24時間			
使用の季節的変動	なし	なし			
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	洗浄水 ○○ m ³ 飼料 ○○ kg オガコ ○○ kg	豚ふん ○t オガコ ○○ kg			
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH BOD(mg/L) SS(mg/L) 大腸菌数(CFU/mL) NH ₄ NO ₂ NO ₃ -N(mg/L) T-P(mg/L) T-N(mg/L)	6~7 2000 4000 >800 500 100 800	6~7 3000 6000 >800 800 200 1000		
汚水等の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		10	20	0	0
その他参考となるべき事項	余剰水分はオガコにて固定。 排水無し。				

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	排水処理施設	浄化槽 1							
処理施設の設置場所	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり							
設置年月日	令和〇〇年〇月〇日	令和〇〇年〇月〇日							
工事着手予定年月日	令和〇〇年〇月〇日	令和〇〇年〇月〇日							
工事完成予定年月日	令和〇〇年〇月〇日	令和〇〇年〇月〇日							
使用開始予定年月日	令和〇〇年〇月〇日	令和〇〇年〇月〇日							
種類及び型式	〇〇製〇〇型	合併浄化槽 型式AA-〇〇型							
構造	別添構造図のとおり	別添構造図のとおり							
主要寸法	別添構造図のとおり	別添構造図のとおり							
能力	20 m ³ /日	5人槽 処理能力 1.0 m ³							
処理の方式	回転式活性汚泥法								
集水及び導水の方法	別添集水・導水図のとおり	別添集水・導水図のとおり							
使用時間間隔	1日20時間運転4時間停止	一日24時間運転							
使用の季節変動	無し	無し							
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	汚泥凝集剤 ○ kg/月 消毒剤 ○ kg/月	消毒剤 ○ kg/日							
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	6~7	6~7	6~7	6~7	5.8~8.6	5.8~8.6	5.8~8.6	5.8~8.6
	BOD(mg/L)	2000	100	3000	120	200	10	250	20
	SS(mg/L)	4000	120	6000	120	160	<15	200	<15
	大腸菌数(CFU/mL)	>800	<800	>800	<800	>800	<800	>800	<800
	NH ₄ NO ₂	500	80	800	100				
	NO ₃ -N(mg/L)								
	T-P(mg/L)	100	20	200	25				
	T-N(mg/L)	800	100	1000	120				
量(m ³ /日)	10	10	20	20	0.2	0.2	0.2	0.2	
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	余剰汚泥 ○ t/月 余剰汚泥は堆肥舎にて堆肥化								
排出水の排出方法	〇〇川へ放流								
その他参考となるべき事項									

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水にかかる排水基準に定められた事項について記載すること。

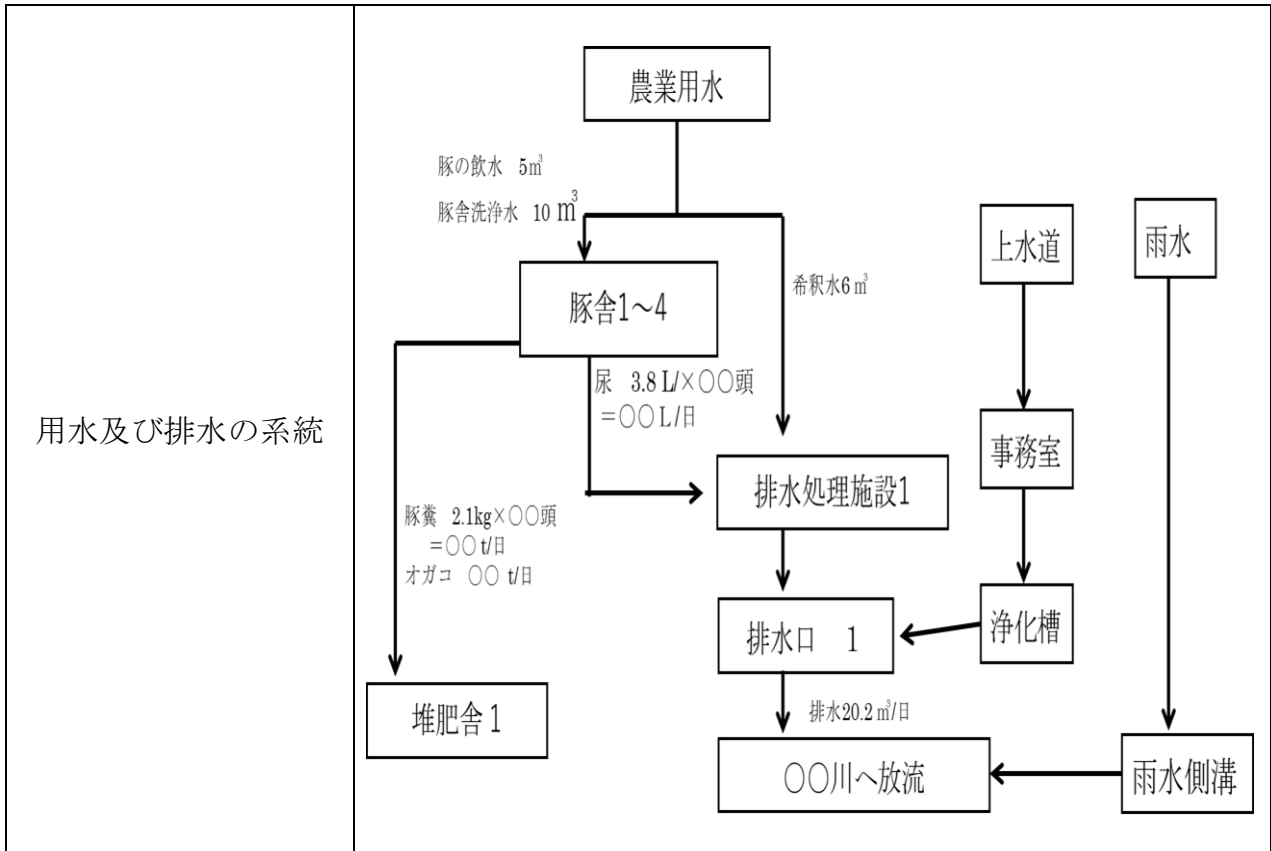
2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		排水口 1		雨水	
排出水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
		pH	6~7	6~7	
	BOD(mg/L)	100	120		
	SS(mg/L)	120	120		
	大腸菌数 (CFU/mL)	<800	<800		
	NH ₄ NO ₂	80	100		
	NO ₃ -N(mg/L)	20	25		
	T-P(mg/L)				
	T-N(mg/L)	100	120		
排水水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		10.2	20.2	0	0
その他参考となるべき事項					

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

用水及び排水の系統



用途別 用水使用量	用途	使用水	用水使用量 (m ³ /日)
	豚の飲水	農業用水	5 m ³
	洗浄水	農業用水	10 m ³
	希釈水	農業用水	6 m ³
	事務所	上水道	0.2 m ³

届出に関する留意点

別紙 1

別紙構造図

○豚舎等の構造がわかる図面等を添付してください。

別添配置図

○施設全体の平面図と特定施設、水処理施設の設置場所がわかる地図等を添付してください

別紙 2

別添配置図

○別紙 1 に同じ

別添操業系統

○子豚の導入から出荷までの流れ等を記載してください。

別紙 3

別紙構造図

○浄化槽であれば浄化槽の型式適合認定証別添仕様書及び図面の写し、汚水処理施設等その他の処理施設であればその構造がわかる図面を添付してください

別添処理系統図

○浄化槽であれば浄化槽の型式適合認定証別添仕様書及び図面の写し、汚水処理施設等その他の処理施設であればその処理の系統がわかる図面を添付してください（別紙構造図と共通でも可）

別紙集水・導水の方法

○建築物の雨水を含む排水配管図を添付してください

様式第1 (第3条関係) (表面)

特定施設 (~~有害物質貯蔵指定施設~~) 設置 (~~使用、変更~~) 届出書

令和〇〇年〇月〇日

〇〇保健所長 殿

沖縄県〇〇村字〇〇〇〇番地

(有) 〇〇ファーム代表取締役 沖縄 太郎

電話番号 (098-〇〇〇-〇〇〇)

届出者

担当者 (〇〇)

水質汚濁防止法第5条第1項、~~第2項又は第3項(第6条第1項又は第2項、第7条)~~の規定により、特定施設 (~~有害物質貯蔵指定施設~~) について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		(有) 〇〇ファーム 〇〇農場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		沖縄県〇〇村字〇〇 〇〇番地 他〇〇	<div style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> 堆肥を製造・販売する場合 11 イも記入してください </div>	
第5条第1項関係	特定施設の種類	1の2 イ、11 イ	※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	※審査結果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考	
	△特定施設の設備(有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。			
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

別紙1

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	豚舎 1～2	堆肥舎 1
特定施設号番号及び名称	1の2 イ	11 イ
型 式	肥育豚舎	乾燥堆肥施設
構 造	コンクリートブロック造	コンクリートブロック造
主要寸法	W ○○m × L ○○m × H ○ ○m ○○ m ²	W ○○m × L ○○m × H ○ ○m ○○ m ²
能 力	飼育頭数 100 頭×2 棟 200 頭	堆肥生産量 ○ kg/日
配 置	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり
設置年月日	年——月——日	年——月——日
工事着手予定年月日	令和○○年○月○日	令和○○年○月○日
工事完成予定年月日	令和○○年○月○日	令和○○年○月○日
使用開始予定年月日	令和○○年○月○日	令和○○年○月○日
その他参考となるべき事項		

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		豚舎 1		堆肥舎	
特定施設号番号及び名称		1の2 イ 豚房施設		11 イ	
設置場所		別添配置図のとおり		別添配置図のとおり	
操業の系統		別添操業系統図のとおり		別添操業系統図のとおり	
使用時間間隔		通年使用		通年使用	
1日当たりの使用時間		24時間		24時間	
使用の季節的変動		なし		なし	
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量		飼料 ○○ kg オガコ ○○ kg 豚舎洗浄水 ○ m ³ （○ヶ月に1回）		豚ふん 1 t/日	
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH BOD (mg/L) SS (mg/L) 大腸菌数 (CFU/mL) NH ₄ NO ₂ NO ₃ -N (mg/L)	-	-	-	-
汚水等の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		0	0	0	0
その他参考となるべき事項		糞尿はすべてオガコにて固定するため排水無し。 糞尿を固定したオガコは○ kg/○日で堆肥舎へ搬出。 豚舎の洗浄は出荷後のみ行い（○ヶ月ごとに出荷）、排水は汚水貯留槽にて貯水し、液肥として草地に還元。		余剰水分はオガコにて固定。 排水無し。	

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号		汚水貯留槽 1				浄化槽 1			
処理施設の設置場所		別添配置図のとおり				別添配置図のとおり			
設置年月日		年 月 日				年 月 日			
工事着手予定年月日		令和〇〇年〇月〇日				令和〇〇年〇月〇日			
工事完成予定年月日		令和〇〇年〇月〇日				令和〇〇年〇月〇日			
使用開始予定年月日		令和〇〇年〇月〇日				令和〇〇年〇月〇日			
種類及び型式		コンクリート製				〇〇社製 〇〇-〇〇			
構造		別添構造図のとおり				別添構造図のとおり			
主要寸法		別添構造図のとおり				別添構造図のとおり			
能力		〇〇 m ³ 貯水				5人槽 処理能力 1.0 m ³			
処理の方式		貯留後・草地還元				嫌気ろ床接触ばっ気			
集水及び導水の方法		別添集水・導水図のとおり				別添集水・導水図のとおり			
使用時間間隔		24時間運転				24時間運転			
使用の季節変動		無し				無し			
消耗資材の1日当たりの用途別使用量						消毒剤 〇 kg/月			
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH BOD(mg/L) SS(mg/L) 大腸菌数(CFU/mL)					5.8~ 8.6 200 160 >800	5.8~ 8.6 10 <15 <800	5.8~ 8.6 300 200 >800	5.8~ 8.6 20 <15 <800
量(m ³ /日)	0	0	0	0	0.2	0.2	0.2	0.2	
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法		汚泥 〇 kg/月、堆肥化				汚泥 〇kg/年、市町村委託処理			
排出水の排出方法		排水はすべて草地へ還元 草地住所: 沖縄県〇〇市〇〇 草地面積: 〇m ²				〇〇川へ放流			
その他参考となるべき事項		汚泥は堆肥舎にて堆肥化							

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水にかかる排水基準に定められた事項について記載すること。

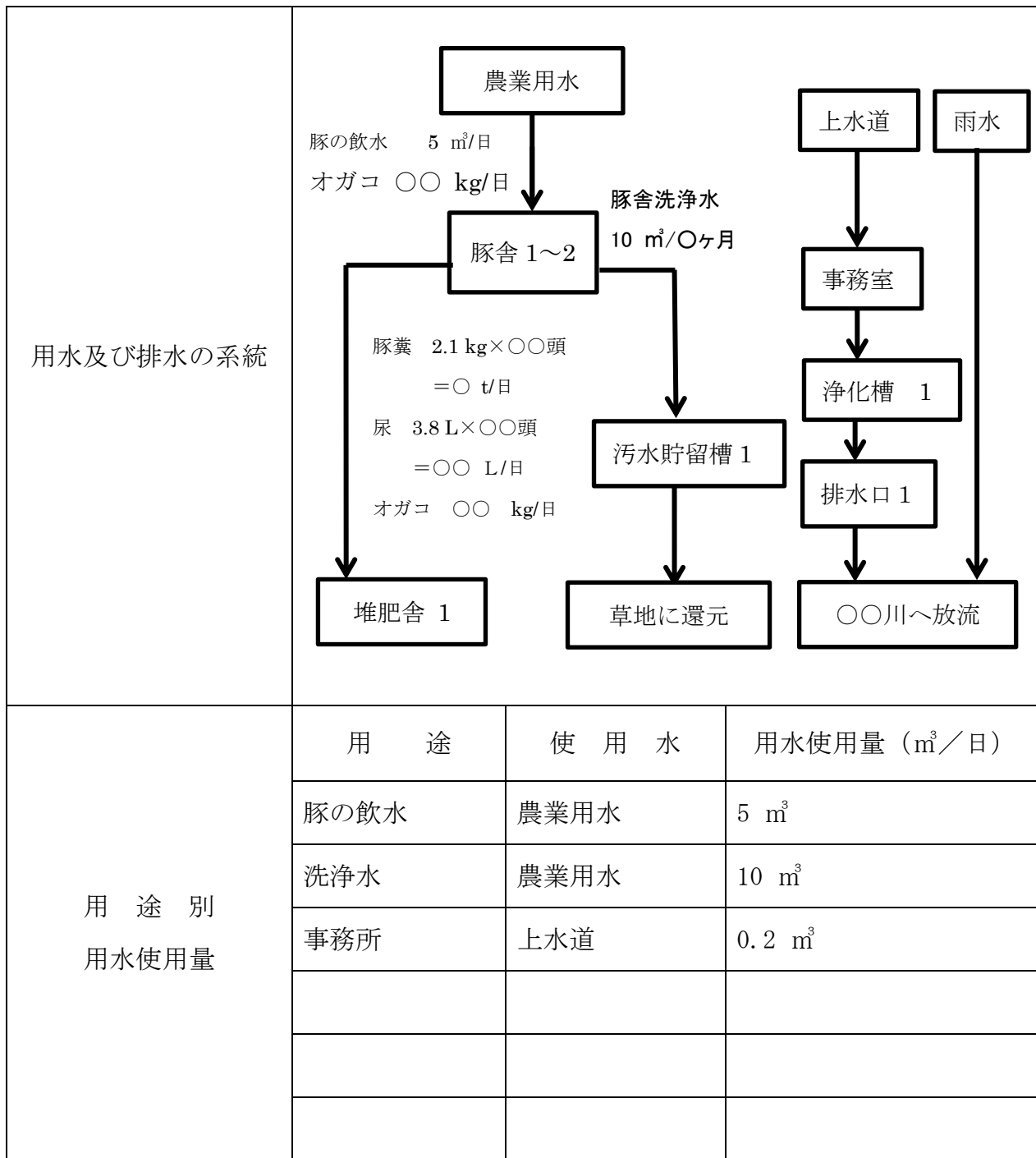
2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		排水口 1		雨水	
排水水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	5.8~8.6	5.8~8.6		
	BOD(mg/L)	10	20		
	SS(mg/L)	<15	<15		
	大腸菌数(CFU/mL)	<800	<800		
排水水の量(m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		0.2	0.2	0	
その他参考となるべき事項					

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

用水及び排水の系統



届出に関する留意点

- 施設からの汚水の排出がない場合でも、雨水等が公共用水域に排出される場合は、基本的に届出は必要です
- 堆肥化・草地還元を行う場合、糞尿等の処理計画について提出をお願いします。また、畑地・草地還元を行う場合は、対象となる草地等の場所や面積などについても記載してください。
- 委託により堆肥化を行う場合は、委託先についての情報を記載してください。また、委託先との契約書の写しや廃棄物処理法の許可証の写し等を添付してください。
- 悪臭防止法による届出が必要になる場合がありますので、設置市町村に確認してください。
- 糞糞尿の量については下記の表を参考にしてください(石川県畜産協会のホームページからの出典のため、沖縄県では量に若干の違いがあるかもしれません)

表 1 家畜ふん尿の排泄量

畜種		体重	ふん(日・頭羽)			尿 (日・頭羽)	合計 (日・頭羽)	合計 (年・頭羽)
			乾物量	含水量	生重			
乳用牛	搾乳牛 ¹⁾	700kg	6.8kg	86%	50g	15kg	65kg	23.7t
	搾乳牛 ²⁾	600～700kg	5.7kg	84%	36kg	14kg	50kg	18.3t
	乾乳牛	550～650kg	4.2kg	80%	21kg	6kg	27kg	9.9t
	育成牛	40～500kg	3.6kg	78%	16kg	7kg	23kg	8.4t
肉用牛	2歳未満	200～400kg	3.6kg	78%	16kg	7kg	23kg	8.4t
	2歳以上	400～700kg	4.0kg	78%	18kg	7kg	25kg	9.1t
	乳用種	250～700kg	3.6kg	78%	16kg	7kg	23kg	8.4t
豚	子豚	3～30kg	0.15kg	72%	0.5kg	1.0kg	1.5kg	0.55t
	肥育豚	30～110kg	0.53kg	72%	1.9kg	3.8kg	5.7kg	2.08t
	繁殖豚	150～300kg	0.83kg	72%	3.0kg	7.0kg	10.0kg	3.65t

1) 生乳生産量が年間 10,000kg 程度の場合

2) 生乳生産量が年間 7,600kg 程度の場合

出典：石川県畜産協会ホームページ (<http://ishikawa.lin.gr.jp/kankyo/02.htm>)

別紙 1

別紙構造図

○豚舎等の構造がわかる図面等を添付してください。

別添配置図

○施設全体の平面図と特定施設、水処理施設の設置場所がわかる地図等を添付してください

別紙 2

別添配置図

○別紙 1 に同じ

別添操業系統

○子豚の導入から出荷までの流れ等を記載してください。

別紙 3

別紙構造図

○浄化槽であれば浄化槽の型式適合認定証別添仕様書及び図面の写し、汚水処理施設等その他の処理施設であればその構造がわかる図面を添付してください

別添処理系統図

○浄化槽であれば浄化槽の型式適合認定証別添仕様書及び図面の写し、汚水処理施設等その他の処理施設であればその処理の系統がわかる図面を添付してください（別紙構造図と共通でも可）

別紙集水・導水の方法

○建築物の雨水を含む排水配管図を添付してください

様式第1 (第3条関係) (表面)

特定施設(有害物質貯蔵指定施設)設置(使用、変更)届出書

令和 〇〇年〇月〇〇日

〇〇保健所長 殿

〇〇市〇〇△丁目△番地△
〇〇株式会社 〇〇食品代表取締役 〇〇 〇〇
届出者 電話番号(098-〇〇〇-〇〇〇)
担当者(〇〇)

水質汚濁防止法第5条第1項、~~第2項又は第3項(第6条第1項又は第2項、第7条)~~の規定により、特定施設(有害物質貯蔵指定施設)について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		〇〇食品 第一工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		〇〇市〇〇△丁目△番地△	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類	2 畜産食品製造業 イ 原料処理施設 16 めん類製造業の用に供する湯煮施設	※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	※審査結果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考	
	△特定施設の設備(有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。			
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

特定施設の構造

**メーカー名と型番のみ
でもかまいません**

工場又は事業場における施設番号	A-1	A-2
特定施設号番号及び名称	2 イ 畜産食料品製造業原料処理施設	めん類製造業の用に供する湯煮施設
型式	解凍槽 〇〇社製〇〇型	〇〇社製〇〇型
構造	スチール製 (別紙構造図のとおり)	スチール製・連続バケット式 (別添構造図のとおり)
主要寸法	1,500(W)×1,200(L)×1,000(H) (別紙構造図のとおり)	2,400(W)×1,000(L)×2,500(H) (別紙構造図のとおり)
能力	120 kg/回	200 kg/回 (2000食/時間)
配置	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり
設置年月日	年—月—日	年—月—日
工事着手予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
工事完成予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
使用開始予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
その他参考となるべき事項	主要製品：味付け豚肉	主要製品：沖縄そば

- 備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
- 2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		A-1		A-2	
特定施設号番号及び名称		2 イ 畜産食料品製造業原料処理施設		16 めん類製造業の用に供する湯煮施設	
設置場所		別添配置図のとおり		別添配置図のとおり	
操業の系統		別添工程表のとおり		別添工程表のとおり	
使用時間間隔		9時～11時、14時～16時		8時～18時 (連続使用)	
1日当たりの使用時間		4時間		10時間	
使用の季節的変動		なし		なし	
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量		豚肉 240 kg/日		小麦粉 80袋/日 (25 kg/1袋)	
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	6.5～8.0	6.5～8.0	4.0～6.0	4.0～6.0
	BOD(mg/L)	1,000	2,000	1,000	1,400
	SS(mg/L)	800	1,500	250	500
	n-ヘキサン(mg/L)	4,000	8,000	100	400
	大腸菌数(CFU/mL)	100	150	200	300
汚水等の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		15	20	150	200
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号		B-1 (工場排水処理施設)				B-2 (合併浄化槽)			
処理施設の設置場所		別添配置図のとおり				別添配置図のとおり			
設置年月日		年 月 日				年 月 日			
工事着手予定年月日		令和〇〇年〇〇月〇〇日				令和〇〇年〇〇月〇〇日			
工事完成予定年月日		令和〇〇年〇〇月〇〇日				令和〇〇年〇〇月〇〇日			
使用開始予定年月日		令和〇〇年〇〇月〇〇日				令和〇〇年〇〇月〇〇日			
種類及び型式		〇〇製〇〇型				合併浄化槽 型式AA-〇〇型			
構造		RC造 (別添構造図のとおり)				FRP			
主要寸法		25 m(W)×10 m(L)×5 m(H) (別紙構造図のとおり)				別添構造図のとおり			
能力		300 m ³ /日				10人槽			
処理の方式		油水分離、活性汚泥方式				接触ばっ気方式			
処理の系統		別添第〇図のとおり				別添第〇図のとおり			
集水及び導水の方法		別添第〇図のとおり				別添第〇図のとおり			
使用時間間隔		連続				同左			
一日当たりの使用時間		24時間				同左			
使用の季節変動		なし				なし			
消耗資材の1日当たりの用途別使用量		凝集剤 〇kg pH調整剤 〇〇mL 塩素 〇〇g				塩素 〇〇g			
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	5.0-8.0	5.8-8.6	6.5-8.0	5.8-8.6	5~9	5.8~	5.5~9	5.8~
	BOD(mg/L)	1,000	20	1,500	30	200	8.6	250	8.6
	SS(mg/L)	500	20	1,000	30	160	10	200	20
	n-ヘキサン(mg/L)	450	10	1,100	15	5	<1	10	5
大腸菌数 (CFU/mL)	200	≤20	300	30	>800	<800	>800	<800	
	量 (m ³ /日)	165	165	220	220	1.5	1.5	2	2
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法		脱水汚泥 (〇m ³ /月) 廃油 (〇m ³ /月)				浄化槽汚泥 (〇m ³ /年)			
排出水の排出方法		処理水→排水口1→側溝→〇〇川				処理水→排水口2→側溝→〇〇川			
その他参考となるべき事項		工場排水処理施設メーカーの情報							

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水にかかる排水基準に定められた事項について記載すること。

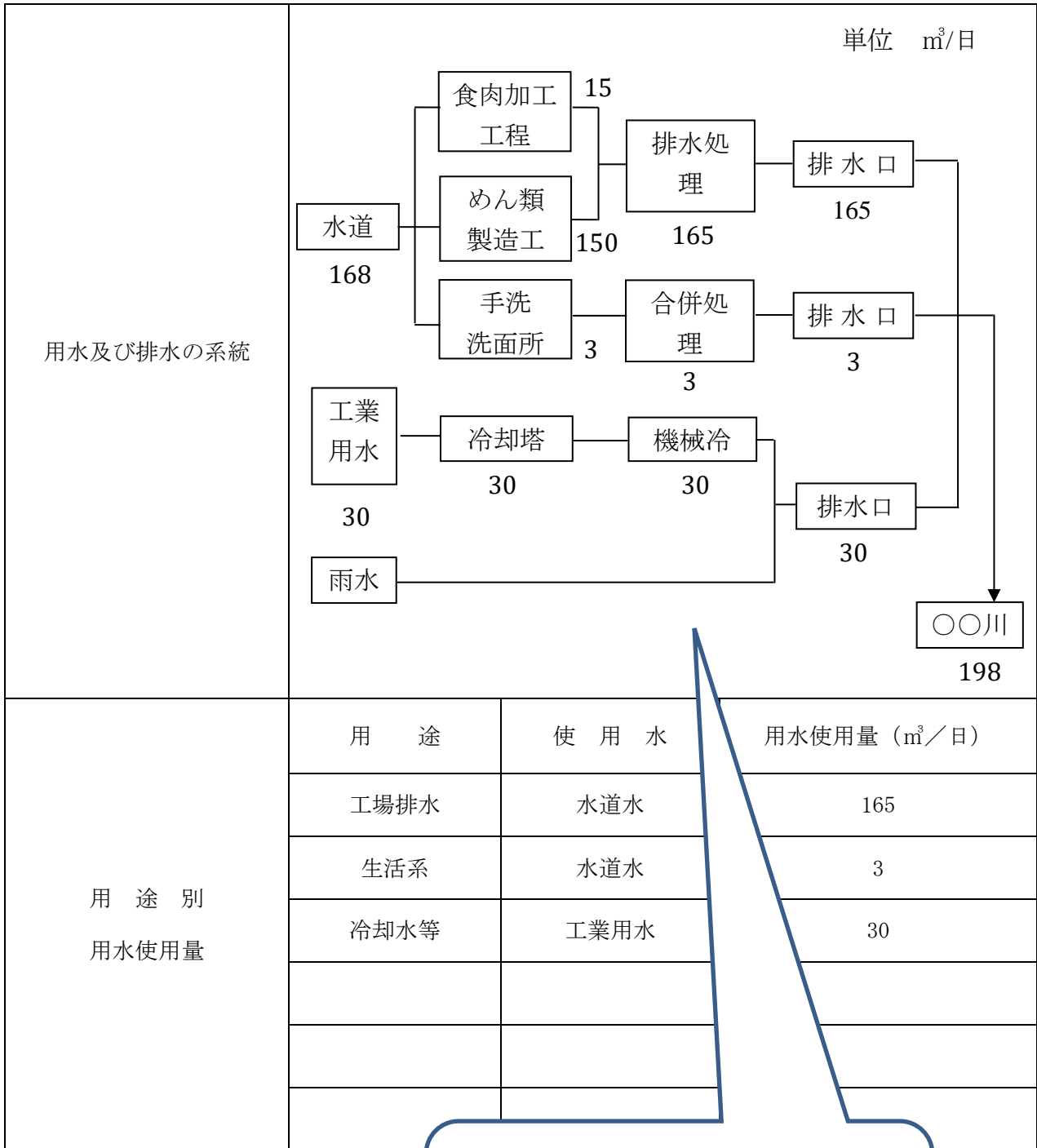
2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		排水口1 (工場排水)		排水口2 (浄化槽排水)		排水口3 (冷却水・雨水排水)	
排水水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大	通常	最大
		pH BOD(mg/L) SS(mg/L) n-ヘキサン(mg/L) 大腸菌数 (CFU/mL)	5.8-8.6 20 20 10 ≤20	5.8-8.6 30 30 15 30	5.8-8.6 10 15 <1 0	5.8-8.6 20 20 5 <800	
排水水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大	通常	最大
		165	220	3	5	30	30
その他参考となるべき事項							

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

用水及び排水の系統



**使用水ごとの用水及び排水の系統をフロー図等で具体的に記載してください
また、最終放流先についても記載をお願いします**

届出に関する留意点

別紙 1

別紙構造図

○各施設の図面やカタログ等を添付してください

別添配置図

○施設全体の平面図と特定施設、水処理施設の設置場所がわかる地図等を添付してください

別紙 2

別添配置図

○別紙 1 に同じ

別添操業系統

○製品の製造工程図等を添付してください。

別紙 3

別紙構造図

○浄化槽であれば浄化槽の型式適合認定証別添仕様書及び図面の写し、グリーストラップ等その他の処理施設であればその構造がわかる図面を添付してください

別添処理系統図

○浄化槽であれば浄化槽の型式適合認定証別添仕様書及び図面の写し、グリーストラップ等その他の処理施設であればその処理の系統がわかる図面を添付してください（別紙構造図と共通でも可）

別紙集水・導水の方法

○建築物の雨水を含む排水配管図を添付してください

様式第1 (第3条関係) (表面)

特定施設 (~~有害物質貯蔵指定施設~~) 設置 (~~使用、変更~~) 届出書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇保健所長 殿

沖縄県〇〇市〇〇-〇-〇

〇〇株式会社 〇〇ホテル代表取締役 沖縄 太郎

届出者 電話番号 (098-〇〇〇-〇〇〇)

担当者 (〇〇)

水質汚濁防止法第5条第1項、~~第2項又は第3項 (第6条第1項又は第2項、第7条)~~の規定により、特定施設 (~~有害物質貯蔵指定施設~~) について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		〇〇ホテル	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		沖縄県〇〇市〇〇-〇-〇	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類	66-3 イ・ハ 旅館業	※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	※審査結果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考	
	△特定施設の設備 (有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。			
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

特定施設の構造

機械の場合、メーカー名と型式の記載でも可

工場又は事業場における施設番号	1 ちゅう房	2 入浴施設
特定施設号番号及び名称	66の3 旅館業 イ ちゅう房施設	66-3 旅館業 ハ 入浴施設
型 式	洗米機 1台 食器洗浄機 2台 流し台 3槽式	大浴場・・・2箇所 客室内浴室・・・100室
構 造	別紙構造図のとおり	別紙構造図のとおり
主要寸法	別紙構造図のとおり	別紙構造図のとおり
能 力	約200食/日	約150人/日
配 置	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり
設置年月日	年——月——日	年——月——日
工事着手予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
工事完成予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
使用開始予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
その他参考となるべき事項	客室数〇室 宿泊可能人数●人	

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及び、 に関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 その他参考となるべき事項の欄には、施設の **客室数や宿泊可能人数など、参考情報を記入してください** 設が有害物質使用特定施設に該当する場 と。

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		1 ちゅう房		2 入浴施設	
特定施設番号及び名称		66の3 旅館業 イ ちゅう房施設		66-3 旅館業 ハ 入浴施設	
設置場所		別添配置図のとおり		別添配置図のとおり	
操業の系統		別添操業系統のとおり		別添操業系統のとおり	
使用時間間隔		朝6時～9時朝食、 昼11時～14時昼食 夜6時から9時夕食		朝9時～11時：大浴場清掃 それ以外は入浴可	
1日当たりの使用時間		6時間/日		22時間（大浴場） 24時間（個室）	
使用の季節的変動		繁忙期（5月、7～9月）は 食数が増加		使用時間の変動なし 繁忙期の使用量は約2倍	
原材料（消耗資材を含む。） の種類、使用方法及び1日 当たりの使用量		種類：野菜、肉等 使用方法：調理 使用量：200kg/日		種類：水道水及び地下水 使用方法：ボイラーで加温 使用量：水道水10m ³ （個室・洗い） 地下水30m ³ （大浴場）	
汚水等の 汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	4～9	3～10	6～8	5～10
	BOD(mg/L)	20～100	50～300	<5	<5
	SS(mg/L)	10～50	20～200	15	30
	大腸菌数(CFU/mL)	>800	>800	100	100
	n-ヘキサン(mg/L)	5～10	20～50	<1	<1
汚水等の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		10	20	50	60
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	1 ちゅう房 2 入浴施設（客室・洗い水）	2 入浴施設（大浴場浴槽）							
処理施設の設置場所	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり							
設置年月日	年—月—日	年—月—日							
工事着手予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日							
工事完成予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日							
使用開始予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日							
種類及び型式	浄化槽 〇〇社 〇〇-〇〇 油トラップ 〇〇社 〇〇-〇〇	髪トラップ 〇〇社 〇〇-〇〇							
構造	別紙構造図のとおり	別紙構造図のとおり							
主要寸法	別紙構造図のとおり	別紙構造図のとおり							
能力	250人槽（50m ³ /日）	30m ³ /日							
処理の方式	担体流動濾過方式	スクリーンろ過方式							
処理の系統	別紙処理系統図のとおり	別紙処理系統図のとおり							
集水及び導水の方法	別紙集水・導水の方法のとおり	別紙集水・導水の方法のとおり							
使用時間間隔	連続稼働	連続稼働							
使用の季節変動	繁忙期は水量増加	無し							
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	殺菌用固形塩素剤 50g/日	殺菌用固形塩素剤 50g/日							
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	4~9	6~8	4~9	6~8	6~9	6~8	5~9	6~8
	BOD (mg/L)	200	10	300	20	<5	<5	<5	<5
	SS (mg/L)	50	5	100	20	20	5	30	10
	大腸菌数 (CFU/mL)	>800	0	>800	0	100	0	100	0
n-ヘキサン (mg/L)	10	2	50	5	<1	<1	<1	<1	
量 (m ³ /日)	10	10	20	20	50	50	60	60	
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	汚泥 汚泥：〇トン/月 産廃処理				髪の毛等 〇kg/月 事業系一廃処理				
排出水の排出方法	別紙集水・導水の方法のとおり				別紙集水・導水の方法のとおり				
その他参考となるべき事項	汚染状態：浄化槽メーカー〇〇社からの資料				大浴場の水はトラップで髪の毛等を除去後に消毒して放流、それ以外の水は浄化槽へ				

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水にかかる排水基準に定められた事項について記載すること。

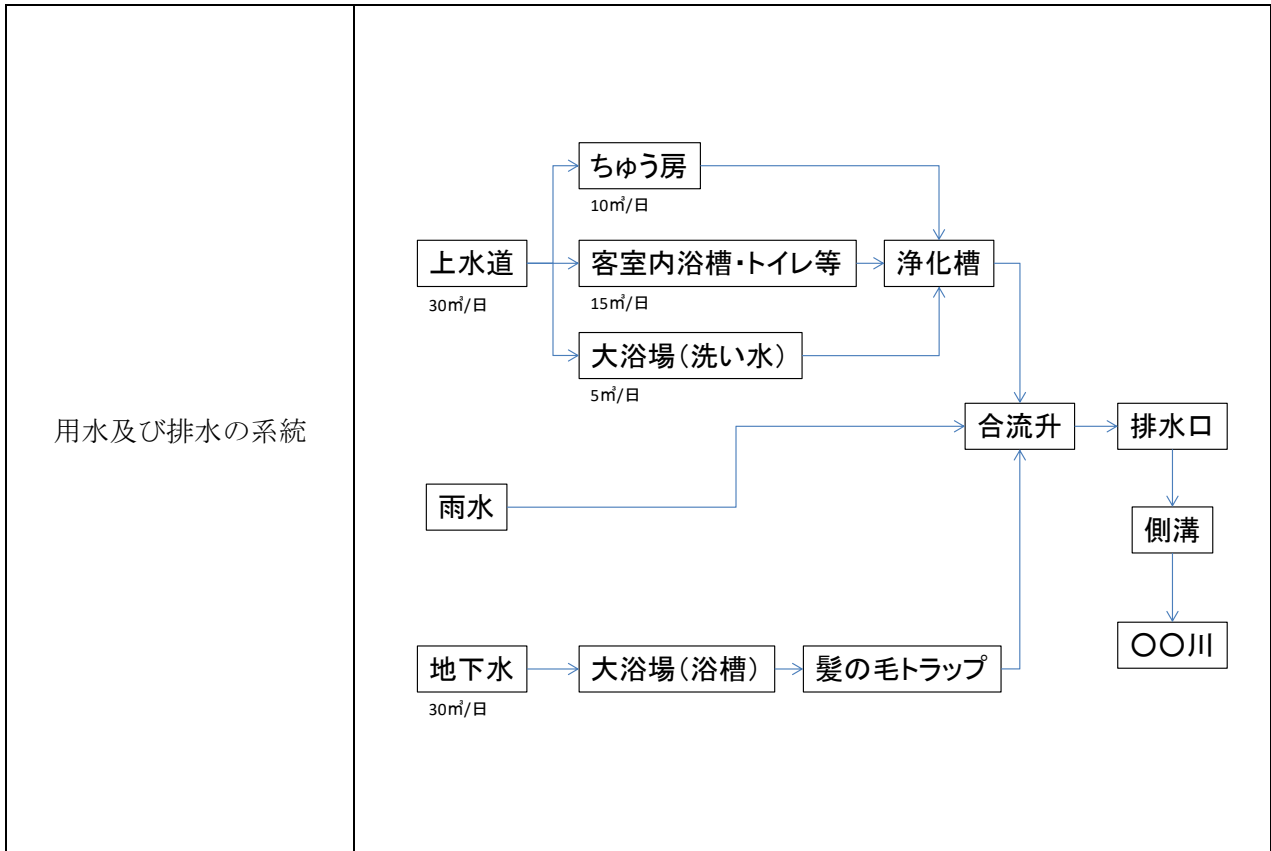
2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		3 浄化槽		4 髪の毛等トラップ	
排水水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
		pH	6~8	6~8	6~8
	BOD (mg/L)	10	20	<5	<5
	SS (mg/L)	5	20	5	10
	大腸菌数 (CFU/mL)	<800	<800	<800	<800
	n-ヘキサン (mg/L)	2	5	<1	<1
排水水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		30	50	30	30
その他参考となるべき事項		浄化槽はちゅう房、客室内浴槽、トイレ、大浴場の洗い水などを処理		大浴場の浴槽水はトラップで髪の毛等を除去後に放流 (環境省：BOD等は温泉を利用する公衆浴場に係る調査結果より)	

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

用水及び排水の系統



用途別 用水使用量	用途	使用水	用水使用量 (m³/日)
	ちゅう房	水道水	10~20
	客室内浴槽 トイレ等	水道水	15~20
	大浴場 (洗い水)	水道水	5~10
	大浴場 (浴槽水)	地下水	30

届出に関する留意点

別紙 1

別紙構造図

- ちゅう房施設についてはちゅう房の平面図や流し（シンク）のカタログ等を添付してください
- 入浴施設については大浴場の平面図やユニットバスのカタログ等を添付してください
- 洗濯施設がある場合は、洗濯機のカタログ等を添付してください

別添配置図

- 施設全体の平面図と特定施設、水処理施設の設置場所がわかる地図等を添付してください

別紙 2

別添配置図

- 別紙 1 に同じ

別添操業系統

- 営業時間、客室数、大浴場の有無などがわかるパンフレット等がかまいません

別紙 3

別紙構造図

- 浄化槽であれば浄化槽の型式適合認定証別添仕様書及び図面の写し、グリーストラップ等その他の処理施設であればその構造がわかる図面を添付してください

別添処理系統図

- 浄化槽であれば浄化槽の型式適合認定証別添仕様書及び図面の写し、グリーストラップ等その他の処理施設であればその処理の系統がわかる図面を添付してください（別紙構造図と共通でも可）

別紙集水・導水の方法

- 建築物の雨水を含む排水配管図を添付してください

(旅館業(一棟貸し等小規模な旅館業施設))

様式第1 (第3条関係) (表面)

特定施設 (~~有害物質貯蔵指定施設~~) 設置 (~~使用、変更~~) 届出書

_____年__月__日

〇〇 保健所長 殿

届出者 沖縄県〇〇市〇〇-〇-〇

環境【沖縄】 太郎

電話番号 (098-〇〇〇-〇〇〇)

水質汚濁防止法第5条第1項、~~第2項又は第3項(第6条第1項又は第2項、第7条)~~の規定により、特定施設(~~有害物質貯蔵指定施設~~)について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		ペンション〇〇	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		沖縄県_____	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類	66-3 イ・ロ・ハ 旅館業	※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	※審査結果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考	
	△特定施設の設備(有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。			
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類	_____		
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	①	②
特定施設号番号及び名称	66の3 旅館業 イ ちゅう房施設	66-3 旅館業 ロ 洗濯施設
型 式	<input checked="" type="checkbox"/> 食器洗浄機 <u>1</u> 台 (<u> </u> <u> </u> 社製 ▼▼▼) <input checked="" type="checkbox"/> 流し台 <u>1</u> 槽式 (<u> </u> <u> </u> 社製 ▼▼▼)	<input type="checkbox"/> 洗濯機 <u>1</u> 台 (<u> </u> <u> </u> 社製 ▼▼▼) <input type="checkbox"/> 洗濯乾燥機 <u>1</u> 台 (<u> </u> <u> </u> 社製 ▼▼▼)
構 造	別紙カタログのとおり	別紙カタログのとおり
主要寸法	別紙カタログのとおり	別紙カタログのとおり
能 力	約 <u>9</u> 食/日	約 <u>8</u> kg/日
配 置	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり
設置年月日	<u> </u> 年 <u> </u> 月 <u> </u> 日	<u> </u> 年 <u> </u> 月 <u> </u> 日
工事着手予定年月日	令和〇〇年〇月〇日	令和〇〇年〇月〇日
工事完成予定年月日	令和〇〇年〇月〇日	令和〇〇年〇月〇日
使用開始予定年月日	令和〇〇年〇月〇日	令和〇〇年〇月〇日
その他参考となるべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・客室数 <u>1</u> 室 ・宿泊可能人数 <u>4</u> 人 	左に同じ

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	③	
特定施設号番号及び名称	66の3 旅館業 ハ 入浴施設	
型 式	<input checked="" type="checkbox"/> 浴室 <u>1</u> 室 (<u>〇〇社製 ▼▼▼</u>) <input type="checkbox"/> その他 (<u> </u>)	
構 造	別紙カタログのとおり	<input type="checkbox"/>
主 要 寸 法	別紙カタログのとおり	<input type="checkbox"/>
能 力	約 <u>4</u> 人/日 浴槽容積 <u>250</u> L	
設置年月日	年 <u> </u> 月 <u> </u> 日	年 月 日
工事着手予定年月日	令和〇〇年〇月〇日	年 月 日
工事完成予定年月日	令和〇〇年〇月〇日	年 月 日
使用開始予定年月日	令和〇〇年〇月〇日	年 月 日
その他参考となるべき事項	左に同じ	

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		①		②	
特定施設番号及び名称		66の3 旅館業 イ ちゅう房施設		66-3 旅館業 ロ 洗濯施設	
設置場所		別紙1 別添配置図に同じ		別紙1 別添配置図に同じ	
操業の系統		宿泊者による利用 (下処理→調理→盛付→洗浄)		宿泊者による利用 (洗濯→濯ぎ→脱水→乾燥)	
使用時間間隔		断続		断続	
1日当たりの使用時間		<u>3</u> 時間		<u>2</u> 時間	
使用の季節的変動		あり (繁忙期 5月、7～8月)		左に同じ	
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量		食材： <u>9</u> 食分		洗剤： <u>100</u> mL/日	
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	<u>4</u> ~ <u>9</u>	<u>3</u> ~ <u>10</u>	<u>5</u> ~ <u>9</u>	<u>5</u> ~ <u>10</u>
	BOD(mg/L)	<u>20</u> ~ <u>100</u>	<u>50</u> ~ <u>300</u>	<u>170</u>	<u>200</u>
	SS(mg/L)	<u>10</u> ~ <u>50</u>	<u>20</u> ~ <u>200</u>	<u>210</u>	<u>300</u>
	大腸菌数(CFU/mL)	<u>>800</u>	<u>>800</u>	<u>>800</u>	<u>>800</u>
n-ヘキサン(mg/L)	<u>5</u> ~ <u>10</u>	<u>20</u> ~ <u>50</u>	<u>10</u>	<u>20</u>	
汚水等の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		<u>0.1</u>	<u>0.2</u>	<u>0.2</u>	<u>0.4</u>
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		③		④	
特定施設番号及び名称		66の3 旅館業 ハ 入浴施設			
設置場所		別紙1 別添配置図に同じ			
操業の系統		宿泊者による利用 (脱衣→入浴)			
使用時間間隔		断続			
1日当たりの使用時間		__○時間			
使用の季節的変動		左に同じ			
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量		ボディソープ : __○mL/日 シャンプー : __○mL/日 リンス : __○mL/日			
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH BOD(mg/L) SS(mg/L) 大腸菌数(CFU/mL) n-ヘキサン(mg/L)	6 ~ 8 ≤ 5 15 ≥ 800 ≤ 1	5 ~ 10 ≤ 5 30 ≥ 800 ≤ 1	~ ~ ~ ~ ~	~ ~ ~ ~ ~
汚水等の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		0.15	0.3		
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	__合併浄化槽__		_____						
処理施設の設置場所	別添配置図のとおり								
設置年月日	〇〇〇〇年〇〇月〇〇日								
工事着手予定年月日	〇〇〇〇年〇〇月〇〇日								
工事完成予定年月日	〇〇〇〇年〇〇月〇〇日								
使用開始予定年月日	〇〇〇〇年〇〇月〇〇日								
種類及び型式	合併浄化槽__〇〇社▼▼-▼▼								
構造	_____FRP製								
主要寸法	別紙構造図のとおり 1.6m×1.0m×1.5mH								
能力	__5__人槽（__〇__m ³ /日）								
処理の方式	_____担体流動ろ過_____方式								
処理の系統	別紙処理系統図のとおり								
集水及び導水の方法	別図集水・導水の方法のとおり								
使用時間間隔	連続稼働								
使用の季節変動	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> 繁忙期は水量増加								
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	<input type="checkbox"/> _____消毒剤〇g/日								
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	4~9	6~8	4~9	6~8				
	BOD(mg/L)	200	10	300	20				
	SS(mg/L)	50	5	100	20				
	大腸菌数(CFU/mL)	>800	<800	>800	<800				
n-ヘキサン(mg/L)	10	2	50	5					
量(m ³ /日)	10	10	20	20					
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	汚泥 汚泥：1.5トン/月 産廃処理								
排出水の排出方法	別紙集水・導水の方法のとおり								
その他参考となるべき事項	汚染状態：浄化槽メーカー〇〇社からの資料								

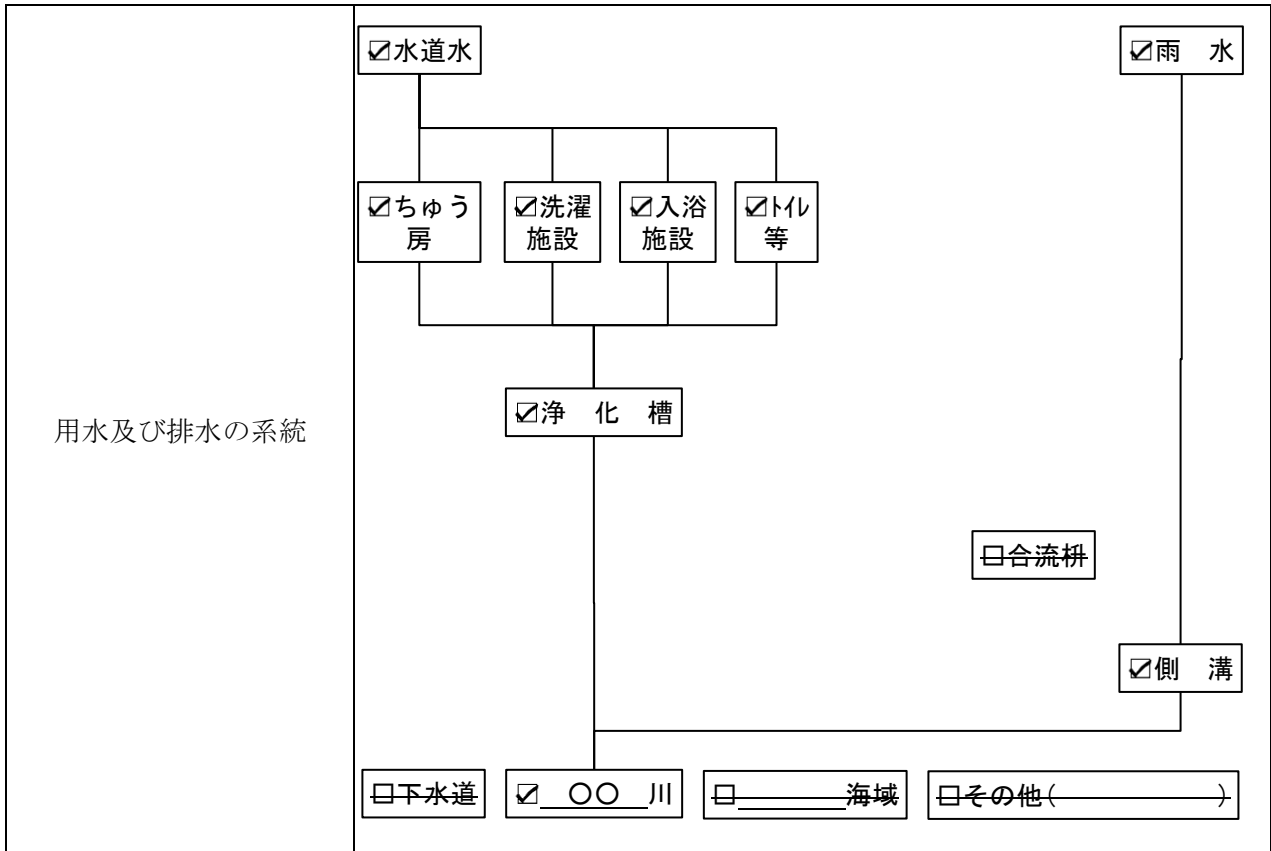
- 備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水質にかんする排水基準に定められた事項について記載すること。
- 2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排出水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		合併浄化槽_____		雨水	
排出水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
		pH BOD (mg/L) SS (mg/L) 大腸菌数 (CFU/mL) n-ヘキサソ (mg/L)	6~8 10 5 <800 2	6~8 20 20 <800 5	—
排水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		10	20	0	0
その他参考となるべき事項		浄化槽はちゆう房、洗濯施設、入浴施設、トイレ、その他 (〇〇) などの汚水処理			

備考 排水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

用水及び排水の系統



用途別 用水使用量	用途	使用水	用水使用量 (m ³ /日)
	ちゅう房	<input checked="" type="checkbox"/> 水道水 <input type="checkbox"/> 地下水 <input type="checkbox"/> その他()	0.1~0.2 m ³
	洗濯施設	<input checked="" type="checkbox"/> 水道水 <input type="checkbox"/> 地下水 <input type="checkbox"/> その他()	0.2~0.5 m ³
	入浴施設	<input checked="" type="checkbox"/> 水道水 <input type="checkbox"/> 地下水 <input type="checkbox"/> その他()	0.15~0.3 m ³
	トイレ等	<input checked="" type="checkbox"/> 水道水	9.55~19 m ³

届出に関する留意点

別紙 1

別紙構造図

- ちゅう房施設については、ちゅう房の平面図や流し（シンク）のカタログ等を添付してください
- 入浴施設については、浴室の平面図やユニットバスのカタログ等を添付してください
- 洗濯施設については、洗濯機のカタログ等を添付してください

別添配置図

- 施設全体の平面図と特定施設、水処理施設の設置場所がわかる地図等を添付してください

別紙 2

別添配置図

- 別紙 1 に同じ

別添操業系統

- 営業時間、客室数、大浴場の有無などがわかるパンフレット等がかまいません

別紙 3

別紙構造図

- 浄化槽であれば浄化槽の型式適合認定証別添仕様書及び図面の写し、グリーストラップ等その他の処理施設であればその構造がわかる図面を添付してください

別添処理系統図

- 浄化槽であれば浄化槽の型式適合認定証別添仕様書及び図面の写し、グリーストラップ等その他の処理施設であればその処理の系統がわかる図面を添付してください（別紙構造図と共通でも可）

別紙集水・導水の方法

- 建築物の雨水を含む排水配管図を添付してください

(ガソリンスタンド等に設置される自動式車両洗淨施設)

様式第1 (第3条関係) (表面)

特定施設~~(有害物質貯蔵指定施設)~~設置~~(使用、変更)~~届出書

令和〇〇年〇月〇日

〇〇保健所長 殿

沖縄県〇〇市〇〇-〇-〇

〇〇石油株式会社代表取締役 沖縄 太郎

届出者

電話番号 (098-〇〇〇-〇〇〇)

担当者 (〇〇)

水質汚濁防止法第5条第1項~~、第2項又は第3項~~(第6条第1項~~又は第2項~~、第7条)の規定により、特定施設~~(有害物質貯蔵指定施設)~~について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		〇〇サービスステーション	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		沖縄県〇〇市△△456番地	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類	71 自動式車両洗淨施設	※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	※審査結果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考	
	△特定施設の設備(有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。			
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	No. 1	
特定施設番号及び名称	71 自動式車両洗淨施設	
型 式	門型洗車機 (〇〇社製 ABC-123)	
構 造	鉄製アルミ板張り (構造図は別添〇のとおり)	
主要寸法	装置外形 縦〇m×横〇m×高さ〇m (構造図は別添〇のとおり)	
能 力	車両70台/日	
配 置	配置図は別添〇のとおり	
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	令和〇〇年〇月〇日	年 月 日
工事完成予定年月日	令和〇〇年〇月〇日	年 月 日
使用開始予定年月日	令和〇〇年〇月〇日	年 月 日
その他参考となるべき事項	参考資料としてカタログ添付	

- 備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
- 2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		No. 1			
特定施設号番号及び名称		71 自動式車両洗淨施設			
設置場所		配置図は別添〇のとおり			
操業の系統		自動車洗淨を行うもの (操業系統図は別添〇のとおり)			
使用時間間隔		8:00~20:00			
1日当たりの使用時間		12時間			
使用の季節的変動		梅雨時期は使用が減少			
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量		濃縮洗剤 ○〇L/日 (水で〇〇倍希釈して使用)			
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	7.5	8.0		
	BOD (mg/L)	50	80		
	SS (mg/L)	60	90		
	n-hex 抽出物 (mg/L)	5	10		
	大腸菌数 (CFU/mL)	30	50		
汚水等の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		4	7		
その他参考となるべき事項		平均洗車数 30台/日			

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号		No. 2				No. 3			
処理施設の設置場所		別添○（配置図）のとおり				別添○（配置図）のとおり			
設置年月日		年 月 日				年 月 日			
工事着手予定年月日		令和○○年○月○日				令和○○年○月○日			
工事完成予定年月日		令和○○年○月○日				令和○○年○月○日			
使用開始予定年月日		令和○○年○月○日				令和○○年○月○日			
種類及び型式		油水分離槽 4槽式 ○○社製 A-1				合併浄化槽（○○人槽） ○○社製 B-2			
構造		コンクリート製 （構造図は別添○のとおり）				FRP製 （構造図は別添○のとおり）			
主要寸法		全体縦○m×横○m×高さ○m （構造図は別添○のとおり）				全体縦○m×横○m×高さ○m （構造図は別添○のとおり）			
能力		○○m ³ /日				○○m ³ /日			
処理の方式		自然分離浮上方式				嫌気ろ床接触ばっ気方式			
集水及び導水の方法		洗車ピット→油水分離槽 （経路図は別添○のとおり）				排水管（埋設）→浄化槽 （経路図は別添○のとおり）			
使用時間間隔		連続				連続			
使用の季節変動		なし				なし			
消耗資材の1日当たりの用途別使用量		特になし				消毒剤（次亜塩素酸Ca） 1錠/日			
汚水等の汚染状態及び水量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	7.5	7.5	8.0	8.0	7.0	7.0	9.0	8.0
	BOD (mg/L)	50	30	80	50	200	10	400	20
	SS (mg/L)	60	30	90	50	200	20	300	30
	n-hex抽出物 (mg/L)	5	2	10	4	5	3	10	4
大腸菌数 (CFU/mL)	30	10	50	20	>800	0	>800	100	
量 (m ³ /日)	4	4	7	7	2	2	4	4	
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法		汚泥(○m ³ /月)は、産業廃棄物処理業者へ処理委託				汚泥(○m ³ /月)は、一般廃棄物として処理			
排出水の排出方法		排水口1→道路側溝→○○川 （排水口位置は、別添○のとおり）				同左			
その他参考となるべき事項		出典：○○社 カタログより				出典：○○社 カタログより			

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水にかかる排水基準に定められた事項について記載すること。

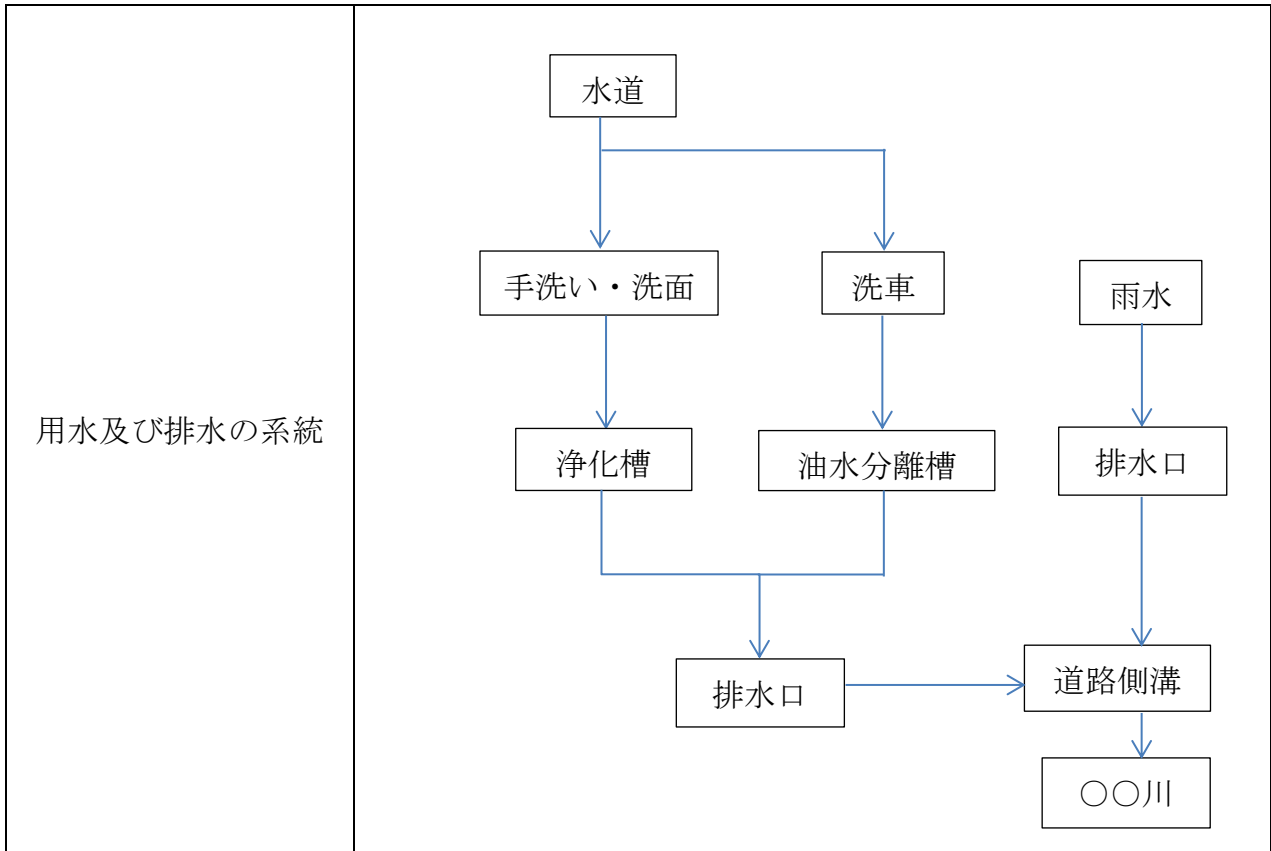
2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		排水口 1 (雑排水等)		排水口 2 (雨水)	
排水水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	7.5	8.0		
	BOD (mg/L)	20	40		
	SS (mg/L)	20	40		
	n-hex抽出物 (mg/L)	3	5		
	大腸菌数 (CFU/mL)	10	100		
排水水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		6	11	0	—
その他参考となるべき事項		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">下水道接続の場合も記載</div> 排水口位置は、別添〇のとおり		同左	

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

用水及び排水の系統



用途別 用水使用量	用途	使用水	用水使用量 (m ³ /日)
	手洗い・洗面	水道水	2～4
	洗車	水道水	4～7

届出に関する留意点

別紙 1

別紙構造図

○自動式車両洗浄施設のカタログ等を添付してください

別添配置図

○施設全体の平面図と特定施設、水処理施設の設置場所がわかる地図等を添付してください

別紙 2

別添配置図

○別紙 1 に同じ

別添操業系統

○自動車洗浄に係る工程図等を添付してください。

○使用する洗剤等の SDS があれば添付してください。

別紙 3

別紙構造図

○浄化槽であれば浄化槽の型式適合認定証別添仕様書及び図面の写し、グリーストラップ等その他の処理施設であればその構造がわかる図面を添付してください

別添処理系統図

○浄化槽であれば浄化槽の型式適合認定証別添仕様書及び図面の写し、グリーストラップ等その他の処理施設であればその処理の系統がわかる図面を添付してください（別紙構造図と共通でも可）

別紙集水・導水の方法

○建築物の雨水を含む排水配管図を添付してください

様式第1 (第3条関係) (表面)

特定施設 (~~有害物質貯蔵指定施設~~) 設置 (~~使用、変更~~) 届出書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇保健所長 殿

沖縄県〇〇市〇〇-〇-〇

医療法人〇〇会〇〇病院 理事長 沖縄 太郎

電話番号 (098-〇〇〇-〇〇〇)

届出者

担当者 (〇〇)

水質汚濁防止法第5条第1項、~~第2項又は第3項 (第6条第1項又は第2項、第7条)~~
の規定により、特定施設 (有害物質貯蔵指定施設) について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		〇〇病院	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		沖縄県〇〇市〇〇-〇-〇	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類	68の2 病院 イ、ロ、ハ 72 し尿処理施設	※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	※審査結果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考	
	△特定施設の設備 (有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。			
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

別紙1①

特定施設の構造

機械の場合、メーカー名と型式等を記載してください

欄が足りない場合は
複写してください

工場又は事業場における施設番号	イ-1	ロ-1~4
及び名称	68の2 病院 イ ちゅう房施設	68の2 病院 ロ 洗浄施設 (洗浄台)
型 式	洗米機 1台 食器洗浄機 3台 流し台 3槽式×2	☆☆社 ステンレスシンク ☆☆-☆☆
構 造	別添構造図のとおり	別添構造図のとおり
主要寸法	別添構造図のとおり	別添構造図のとおり
能 力	約1200食/日	ステンレス槽 2槽×4
配 置	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	
工事完成予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	
使用開始予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	
その他参考となるべき事項	年平均入院患者数 〇〇名×3食 従業員向け 〇〇食	検査室等

洗浄施設など、能力の記載が難しい施設についての記載は施設の概要でかまいません

- 備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
- 2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

別紙1②

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	ロ-5～14	ハ-1、2
特定施設番号及び名称	68の2 病院 ロ 洗浄施設 (洗濯施設)	68の2 病院 ハ 入浴施設
型 式	全自動洗濯機 (洗濯容量：9kg) ×10台	大浴場 ×2
構 造	別添構造図のとおり	別添構造図のとおり
主要寸法	別添構造図のとおり	別添構造図のとおり
能 力	9kg×○回×10台/日	入浴者 ○○名/日
配 置	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	令和○○年○○月○○日	令和○○年○○月○○日
工事完成予定年月日	令和○○年○○月○○日	令和○○年○○月○○日
使用開始予定年月日	令和○○年○○月○○日	令和○○年○○月○○日
その他参考となるべき事項		

- 備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
- 2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	ハ-3~15	72-1
特定施設番号及び名称	68の2 病院 ハ 入浴施設	72 し尿処理施設
型 式	◎◎社 ○○-○○×10 ◎◎社 △△-△△	●●社 浄化槽 ■ ■ - ■ ■
構 造	別添構造図のとおり	別添構造図のとおり
主要寸法	別添構造図のとおり	別添構造図のとおり
能 力	入浴者 ○○名/日×10 入浴者 △△名/日×3	2000人槽
配 置	別添配置図のとおり	別添配置図のとおり
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	令和○○年○○月○○日	令和○○年○○月○○日
工事完成予定年月日	令和○○年○○月○○日	令和○○年○○月○○日
使用開始予定年月日	令和○○年○○月○○日	令和○○年○○月○○日
その他参考となるべき事項	○○-○○ 個別浴槽 ハ-3~12 △△-△△ 要介護者用 ハ-13~15	国土交通省認証番号 ■ ■ - ■ ■

浄化槽の型式適合認定書別添仕様書及び図面の添付で問題ありません。

- 備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
- 2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

特定施設の設備

工場又は事業場における施設番号	ロ-1	ロ-2
特定施設号番号及び名称	68の2 病院 ロ 洗浄施設	68の2 病院 ロ 洗浄施設
設備	ステンレスシンク	ステンレスシンク
構造	別紙構造図のとおり	別紙構造図のとおり
主要寸	別紙構造図のとおり	別紙構造図のとおり
配	別紙配置図のとおり	別紙配置図のとおり
設置	年 月 日	
工事着	令和〇〇年〇〇月〇〇日	
工事完	令和〇〇年〇〇月〇〇日	
使用開	令和〇〇年〇〇月〇〇日	
その他参考となるべき事項	病理検査室 有害物質を使用 (別添使用薬剤リスト①) 配管材質 硬質塩ビ管 配管点検：目視点検(年〇回) 施設周辺床面：耐薬性被覆 (被覆の性状は別添カタログ参照)	臨床検査室 有害物質を使用 (別添使用薬剤リスト②) 配管材質 硬質塩ビ管 配管点検：目視点検(年〇回) 施設周辺床面：耐薬性被覆 (被覆の性状は別添カタログ参照)

有害物質使用特定施設に係る構造はカタログ写しの添付だけでは無く、周辺の床構造や配管の構造、トレンチの有無など詳細について記載してください

- 備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。
- 2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。

特定施設の設備

工場又は事業場における施設番号	ロ-3	ロ-4
特定施設号番号及び名称	68の2 病院 ロ 洗浄施設	68の2 病院 ロ 洗浄施設
設備	ステンレスシンク	ステンレスシンク
構造	別紙構造図のとおり	別紙構造図のとおり
主要寸法	別紙構造図のとおり	別紙構造図のとおり
配置	別紙配置図のとおり	別紙配置図のとおり
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
工事完成予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
使用開始予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
その他参考となるべき事項	細菌検査室 有害物質を使用 (別添使用薬剤リスト③) 配管材質：耐熱性硬質塩ビ管 配管点検：目視点検(年〇回) 施設周辺床面：耐薬性被覆 (被覆の性状は別添カタログ参照)	薬剤調剤室 有害物質を使用 (別添使用薬剤リスト④) 配管材質：硬質塩ビ管 配管点検：目視点検(年〇回) 施設周辺床面：耐薬性被覆 (被覆の性状は別添カタログ参照)

- 備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。
- 2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。

別紙2①

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		イ-1		ロ-1~4	
特定施設号番号及び名称		68の2 病院 イ ちゅう房施設		68の2 病院 ロ 洗浄施設	
設置場所		別添配置図のとおり		別添配置図のとおり	
操業の系統		別添操業の系統のとおり		別添操業の系統のとおり	
使用時間間隔		朝食 6:00~9:00 昼食 11:00~14:00 夕食 17:00~20:00		9:00~18:00	
1日当たりの使用時間		9時間/日		9時間/日	
使用の季節的変動		季節変動無し		季節変動無し	
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量		野菜、肉・魚、穀物類 1200食/日		別添使用薬剤リスト ①~④のとおり	
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	5~9	4~10	5~9	4~10
	BOD(mg/L)	450	600	450	600
	SS(mg/L)	450	600	450	600
	大腸菌数(CFU/mL)	<800	<800	<800	<800
	n-ヘキサン(mg/L)	<10	<20	<10	<20
	ふっ素(mg/L)	-	-	10	15
	ほう素(mg/L)	-	-	5	10
	砒素(mg/L)	-	-	0.01	0.015
	セレン(mg/L)	-	-	0.01	0.015
総水銀(mg/L)	-	-	<0.0005	0.0005	
汚水等の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		50	80	1	2
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙2②

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		ロ-5~15		ハ-1~15	
特定施設号番号及び名称		68の2 病院 ロ 洗浄施設		68の2 病院 ハ 入浴施設	
設置場所		別添配置図のとおり		別添配置図のとおり	
操業の系統		別添操業の系統のとおり		別添操業の系統のとおり	
使用時間間隔		8:30~17:30		14:00~18:00	
1日当たりの使用時間		9時間/日		4時間/日	
使用の季節的変動		季節変動無し		季節変動無し	
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量		洗剤 ○本/日 柔軟剤 ○本/日 漂白剤 ○本/日		シャンプー ○本/日 リンス ○本/日 石けん ○個/日	
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH	5~9	4~10	5~9	5~9
	BOD(mg/L)	200	400	50	80
	SS(mg/L)	200	400	50	80
	大腸菌数(CFU/mL)	<800	<800	<800	<800
n-ヘキサン(mg/L)	<10	<15	<10	<15	
汚水等の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	通常
		20	40	40	60
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	72-1				
特定施設号番号及び名称	72 し尿処理施設				
設置場所	別添配置図のとおり				
操業の系統	別添操業の系統のとおり				
使用時間間隔	24時間稼働				
1日当たりの使用時間	24時間稼働		浄化槽の型式適合認定書別添仕様書及び図面の添付で問題ありません。		
使用の季節的変動	季節変動無し				
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	消毒用タブレット ○kg/日				
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH BOD(mg/L) SS(mg/L) 大腸菌数(CFU/mL) n-ヘキサン(mg/L)	6~8 10 10 <800 <5	6~8 20 20 <800 <5		
汚水等の量 (m ³ /日)	通常	通常	最大	通常	通常
		220	270		
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

特定施設でこの処理施設に汚水を排出するものと、特定施設以外でこの処理施設を用いる汚水発生源を記載してください

工場又は事業場における施設番号	浄化槽 イ-1、ロ-5~15 ハ-1~15、その他雑排水（洗面台、便所等からの排水）				
処理施設の設置場所	別添配置図のとおり				
設置年月日	年 月 日				
工事着手予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日				
工事完成予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日				
使用開始予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日				
種類及び型式	●●社 浄化槽 認証番号■■-■■■				
構造	RC及びFRP製				
主要寸法	別添構造図のとおり				
能力	2000人槽				
処理の方式	担体流動ろ過循環方式				
処理の系統	別添処理系統図のとおり				
集水及び導水の方法	別添集水及び導水図のとおり				
使用時間間隔	24時間稼働				
使用の季節変動	季節変動無し				
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	消毒用タブレット ○kg				
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	5~9	6~8	5~9	6~8
	BOD(mg/L)	200	10	300	20
	SS(mg/L)	200	10	300	20
	大腸菌数(CFU/mL)	≤800	<800	≤800	<800
n-ヘキサン(mg/L)	10	<5	15	<5	
量(m ³ /日)	200	220	250	270	
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	汚泥 ○〇トン/月 事業系一廃処理 グリーストラップからの廃油 ○〇kg/月 産廃処理 食品残渣 ○〇トン/月 事業系一廃処理				
排出水の排出方法	調整池からオーバーフローして排水口1へ				
その他参考となるべき事項					

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水にかかる排水基準に定められた事項について記載すること。

2 排水水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

別紙3②

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	検査室等排水処理施設処理水				
処理施設の設置場所	別添配置図のとおり				
設置年月日	年 月 日				
工事着手予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日				
工事完成予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日				
使用開始予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日				
種類及び型式	汚水処理施設				
構造	FRP及びSUS304製				
主要寸法	別添構造図のとおり				
能力	2m ³ /日				
処理の方式	連続式中和/沈殿方式				
処理の系統	別添処理系統図のとおり				
集水及び導水の方法	別添集水及び導水図のとおり				
使用時間間隔	24時間稼働				
使用の季節変動	季節変動無し				
消耗資材の1日当たりの用途別使用量	次亜塩素酸Na ○L、硫酸○L NaOH ○L、PAC ○kg				
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後
	pH	5~9	6~8	4~10	6~8
	BOD(mg/L)	450	10	600	20
	SS(mg/L)	450	10	600	20
	大腸菌数(CFU/mL)	≤800	<800	≤800	<800
	n-ヘキサン(mg/L)	≤10	<5	≤20	<5
	ふっ素(mg/L)	10	2	15	3
	ほう素(mg/L)	5	1	10	2
	砒素(mg/L)	0.01	<0.002	0.015	<0.002
セレン(mg/L)	0.01	<0.002	0.015	<0.002	
総水銀(mg/L)	<0.0005	<0.0005	0.0005	<0.0005	
量(m ³ /日)	1	5	2	10	
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法	汚泥 ○〇ト/月 産廃処理				
排出水の排出方法	調整池からオーバーフローして排水口1へ				
その他参考となるべき事項	年に1回汚泥の性状検査を委託測定				

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水にかかる排水基準に定められた事項について記載すること。

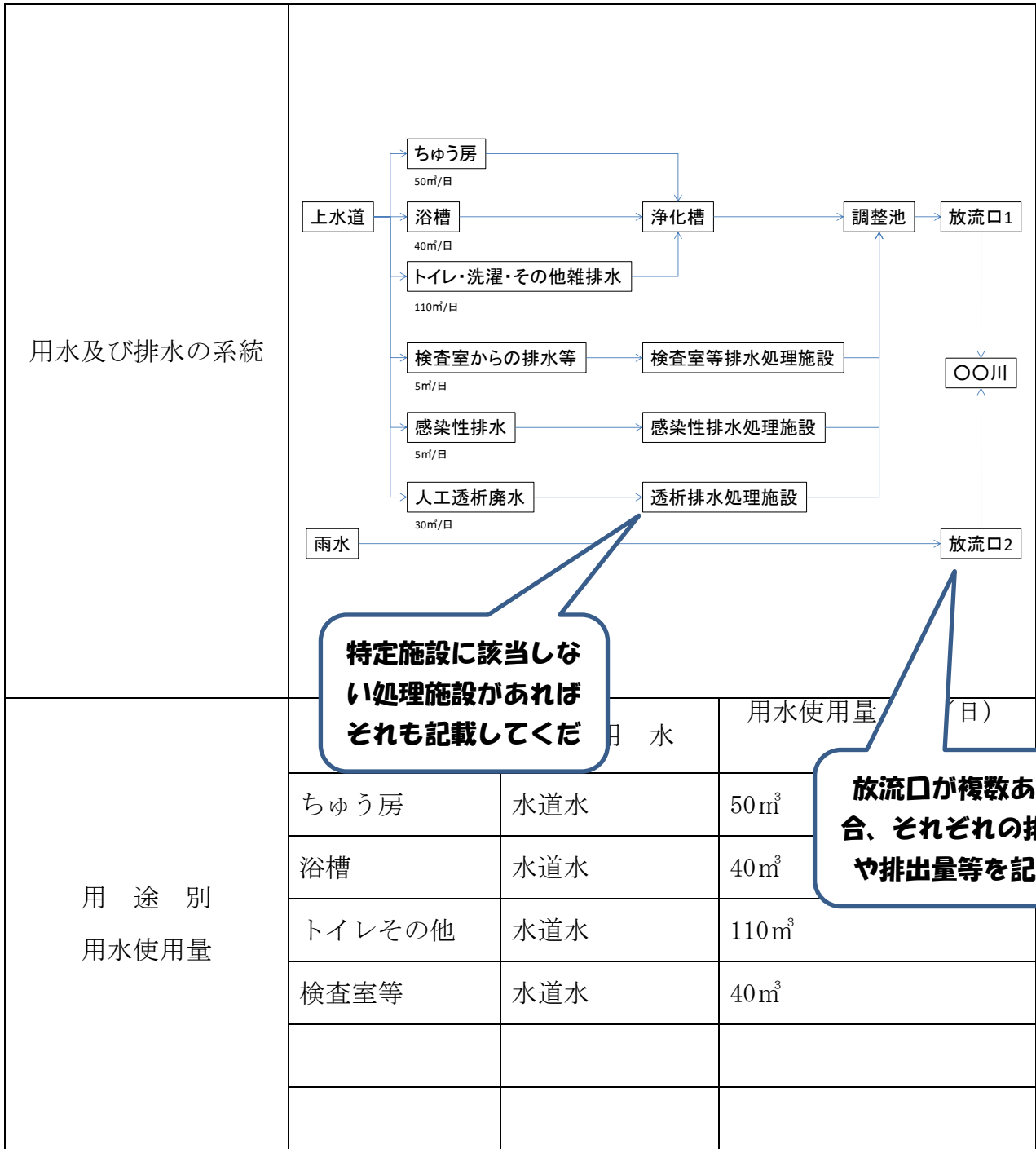
2 排水水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		排出口1(浄化槽及び排水処理施設処理水からの排水)		排出口2(雨水排水)	
排出水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
		pH	6~8	6~8	
	BOD(mg/L)	10	20		
	SS(mg/L)	10	20		
	大腸菌数(CFU/mL)	<800	<800		
	ノルマルヘキサノール(mg/L)	<5	<5		
	ふっ素(mg/L)	2	3		
	ほう素(mg/L)	1	2		
	砒素(mg/L)	<0.002	<0.002		
	セレン(mg/L)	<0.002	<0.002		
	総水銀(mg/L)	<0.0005	<0.0005		
排水水の量(m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		240	300	0	〇〇
その他参考となるべき事項		調整池からのオーバーフロー水 特定施設及び浄化槽以外の処理施設処理水(透析廃水、感染性廃水など)を含む			

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

用水及び排水の系統



**特定施設に該当しない
処理施設があれば
それも記載してくだ**

**放流口が複数ある場合、
それぞれの排出先
や排出量等を記載し**

用途別
用水使用量

用途	用水	用水使用量 (日)
ちゅう房	水道水	50m ³
浴槽	水道水	40m ³
トイレその他	水道水	110m ³
検査室等	水道水	40m ³

届出に関する留意点

○平面図中には有害物質を使用する場所について記載をお願いします。

(特定施設に関わらない場所でも有害物質を使用する場所は記載してください。)

○使用する有害物質については、使用する部屋ごとに記載してください(施設廃止時の土壌汚染調査の際に必要な資料となります)。

○排水配管図において、有害物質に係るものについては色分けを行うなど、通常の排水管と区別してください。

○使用薬剤リストについて、有害物質が不純物として含まれているものについては記載不要です(例:不純物として砒素・フッ素・水銀等を含む食品などは記載の対象外ですが、医薬品として使用するトリセノックス(三酸化二砒素)、フッ化ナトリウムや防腐剤としてチメロサル(有機水銀)を含むワクチン等は記載してください)。

○有害物質使用特定施設等については、必要に応じ、下記の書類も提出してください。

(1) 特定施設及び特定施設に付帯する施設(配管、防液堤等)の仕様書、カタログ、設計図面等

(2) 排水処理施設(有害物質使用特定施設等以外の排水を処理する除害施設を含む)の機能がわかる仕様書、カタログ、設計図面等

(3) 漏えい検知装置が設置されている場合は、全体の配置図と部分詳細図

(4) 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設に係る点検方法等の概要

(5) 有害物質使用の有無のリスト又は使用試薬一覧

(6) 管理要領(廃液の取扱い、点検頻度、点検箇所等を含む)等

別紙1の別添

○構造図について

ちゅう房施設についてはちゅう房の平面図や流し(シンク)のカタログ等を添付してください。

入浴施設については大浴場の平面図やユニットバスのカタログ等を添付してください。

洗浄施設がある場合は、シンクや洗濯機のカタログ等を添付してください。

浄化槽の構造図は型式適合認定書及び別添仕様書及び図面でかまいません。

○配置図について

施設全体の平面図と特定施設、水処理施設の設置場所がわかる地図等を添付してください。

別紙1の2の別添

○構造図について

有害物質使用特定施設に係る構造はカタログ写しの添付だけでは無く、周辺の床構造や配管の構造、トレンチの有無など詳細について記載してください。

○使用薬剤リスト

使用薬剤リストには有害物質を含むものだけでもかまいません。

○カタログ

床面や配管について、薬品への耐性がわかる資料などを添付してください(材質について「ステンレス」のみではなくSUS304、18-8などステンレスの種類がわかるものをお願いします)。

別紙2の別添

○配置図について

別紙1のものと共用でかまいません。

○操業の系統について

病院の病床数や診療科目、救急医療の有無などがわかるパンフレットの添付でかまいません。

別紙3の別添

○配置図について

別紙1と同じです。

○構造図について

別紙1と同じです。

○処理系統図について

浄化槽であれば、浄化槽型式適合認定書の仕様書などを添付してください。汚水処理施設がある場合は、汚水処理施設の処理の系統を記載してください。

○集水及び導水図

配置図と共用してもかまいません。

○集水及び導水図

配置図と共用してもかまいませんが、有害物質を含む排水が通るおそれがある管は色を変えてください。

<参考> 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設に係る点検方法等の概要例

1. 有害物質使用特定施設の概要

工場又は事業場における施設番号	特定施設の種類	使用している有害物質の種類
ロ-1 (病理検査室)	68の2 ロ 洗浄施設	別添使用薬剤リスト①

2. 定期点検の方法及び頻度

設備名等	基準	設備の構造	定期点検の方法	定期点検の頻度	備考
床面	A	<ul style="list-style-type: none"> 1F〇〇室から、床面からの有害物質を含む水の漏えいを目視により容易に確認できる場所に設置。 コンクリートの上から耐薬性のある〇〇で被覆(被覆の性状は別添カタログ参照) 	1F〇〇室から床の下への漏えいの有無を目視で確認	1月に1回以上	1F〇〇室から、床面からの有害物質を含む水の漏えいを目視により容易に確認できる。
施設本体	-	-	①及び②を目視で点検する。 ① 床面のひび割れ、被覆の損傷その他 異常の有無 ② 施設本体からの有害物質を含む水の漏えいの有無	1年に1回以上	施設の詳細については別添図面のとおり
付帯する地上配管	A	配管材質：硬質塩ビ管 配管外面：腐食防止のため、〇〇を実施	①及び②を目視で点検する。 ① 配管等の亀裂、損傷その他の異常の有無 ② 配管等からの有害物質を含む水の漏えいの有無	1年に1回以上	配管の構造については別添〇〇のとおり 有害物質を含む排水が流れる配管は別添配管図に赤線で記載
付帯する地下配管	-	<ul style="list-style-type: none"> コンクリートの上から耐薬性のある〇〇で被覆したトレンチの中に設置 	①から③を目視で点検する。 ① 配管等の亀裂、損傷その他の異常の有無 ② 配管等からの有害物質を含む水の漏えいの有無 ③ トレンチの側面及び底面のひび割れ、被覆の損傷その他の異常の有無	1年に1回以上	配管及びトレンチの構造については別添〇〇のとおり
排水溝	-	-	-	-	施設に付帯する排水溝等なし
使用の方法	-	別添管理運営要領のとおり	管理要領からの逸脱の有無及び管理要領からの逸脱に伴う有害物質を含む水の飛散、流出又は地下への浸透の有無	1年に1回以上	

<参考>使用薬品リスト 例

所属	〇〇病院	連絡先	098-123-4567
記入者	沖縄 太郎	部屋番号	病理検査室

1. 特定施設使用状況

使用者数：4人 測定項目：病理検査（項目：〇〇）、遺伝子解析等 使用機器等：原子吸光、赤外吸光光度計、GC-MS、LC-MS（代表的なものを記載する。）
--

2. 有害物質・生活環境項目（フェノール類等）について

有害物質の使用有無		<input checked="" type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無	
種類	物質	使用の有無		使用試薬名称
有害物質	カドミウム及びその化合物	<input type="radio"/>		カドミウム標準液
	シアン化合物	<input type="radio"/>		シアン標準液
	有機リン化合物	<input type="radio"/>		農薬標準液
	鉛及びその化合物	<input type="radio"/>		鉛標準液
	六価クロム化合物	<input type="radio"/>		六価クロム標準液
	ヒ素及びその化合物	<input type="radio"/>		ヒ素標準液
	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	<input type="radio"/>		水銀標準液
	ポリ塩化ビフェニル			
	トリクロロエチレン			
	テトラクロロエチレン			
	ジクロロメタン			
	四塩化炭素			
	1,2-ジクロロエタン			
	1,1-ジクロロエチレン			
	1,2-ジクロロエチレン			
	1,1,1-トリクロロエタン			
	1,1,2-トリクロロエタン			
	1,3-ジクロロプロペン			
	テトラメチルウラムジスルフィド [※] (別名チウラム)			
	2-クロロ-4,6-ビス(エチルアミノ)-s- トリアジン (別名シマジン)			
	S-4-クロロベンジル=N,N-ジエチル チオカルバマート (別名チオベンカルブ [※])			
	ベンゼン			
	セレン及びその化合物	<input type="radio"/>		セレン標準液
	ほう素及びその化合物			
	ふっ素及びその化合物	<input type="radio"/>		ふっ素標準液
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	<input type="radio"/>		アンモニア標準液、亜硝酸標準液、硝酸標準液、硝酸、アンモニア溶液、塩化アンモニウム	
塩化ビニルモノマー				
1,4-ジオキサン				
フェノール類				
銅化合物	<input type="radio"/>		銅標準液	
亜鉛化合物	<input type="radio"/>		亜鉛標準液	
鉄化合物	<input type="radio"/>		鉄標準液	
マンガン化合物	<input type="radio"/>		マンガン標準液、硫酸マンガン、過マンガン酸カリウム溶液	
クロム化合物	<input type="radio"/>		クロム標準液	

3. その他（上記以外の試薬）

硫酸、塩酸、メタノール、エタノール、クロロホルム、アセトン、アセトニトリル、イソプロパノール、ヘキサン、りん標準液、アスコルビン酸ナトリウム、ジフェニルカルバジド、ヨウ化カリウム

様式第1 (第3条関係) (表面)

特定施設~~(有害物質貯蔵指定施設)~~設置~~(使用、変更)~~届出書

令和 年 月 日

〇〇保健所長 殿

届出者 沖縄県〇〇市〇〇-〇-〇
一般社団法人〇〇研究所理事長 沖縄 太郎
電話番号 (098-〇〇〇-〇〇〇)
担当者 (〇〇)

水質汚濁防止法第5条第1項、~~第2項又は第3項(第6条第1項又は第2項、第7条)~~
の規定により、特定施設~~(有害物質貯蔵指定施設)~~について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		〇×△研究所	※整理番号	
工場又は事業場の所在地		〇〇市□□1-2-3	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類	71の2 科学技術に関する研究、試験、検査の業務の用に供する施設 イ. 洗浄施設	※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	※審査結果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考	
	△特定施設の設備(有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。			
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	No.1 流し台	No.2 流し台
特定施設番号及び名称	71の2 イ. 洗浄施設	71の2 イ. 洗浄施設
型式	流し台(2層シンク) ABC型	流し台(2層シンク) ABC型
構造	本体: ポリエステル樹脂化粧合板 流し: ステンレスSUS304 配管: 硬質塩化ビニル	本体: ポリエステル樹脂化粧合板 流し: ステンレスSUS304 配管: 硬質塩化ビニル
主要寸法	幅1500mm×奥行750mm×高さ930mm (流し有効寸法 W1428×D560×深230)	幅1500mm×奥行750mm×高さ930mm (流し有効寸法 W1428×D560×深230)
能力	—	「71の2 イ. 洗浄施設」の場合、能力の欄は空欄または「—」でもかまいません。または、1日あたりの処理検体数を記載してください。
配置	別紙 平面図のとおり	別紙 平面図のとおり
設置年月日	年—月—日	年—月—日
工事着手予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
工事完成予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
使用開始予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
その他参考となるべき事項		<u>有害物質使用特定施設</u> 床面: コンクリート +ビニルエステル樹脂系塗料 3.5mm

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

特定施設の設備

工場又は事業場における施設番号	No. 2 流し台	
特定施設番号及び名称	71の2 イ. 洗浄施設	
設備	①地上配管 ②ピット内配管	
構造	①ステンレス製 ②硬質塩化ビニル製	
主要寸法	①直径 100mm×長さ 1m ②直径 100mm×長さ 10m	
配置	別添 構造図及び配管図のとおり	
設置年月日	年—月—日	年 月 日
工事着手予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
工事完成予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
使用開始予定年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
その他参考となるべき事項	有害物質を使用 (別添使用薬剤リスト①) 施設周辺床面：耐薬性被覆(被覆の性状は別添カタログ参照) 周囲：吸水マットを常備 〇〇規定に基づき、実験器具等使用後のn次洗浄水までは回収し、産廃処理。n次洗浄水を当該施設に流すが、有害物質は含まれていない。	

- 備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。
2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。

別紙2

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		No.1 流し台		No.2 流し台	
特定施設号番号及び名称		71の2 イ. 洗浄施設		71の2 イ. 洗浄施設	
設置場所		別紙 平面図のとおり		別紙 平面図のとおり	
操業の系統		別紙のとおり		別紙のとおり	
使用時間間隔		8:00~18:00		8:00~20:00	
1日当たりの使用時間		8時間		10時間	
使用の季節的変動		季節変動なし		夏季に多い	
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量		硫酸 約〇ml 硫酸銀 約〇g 過マンガン酸カリウム溶液 約〇ml		別紙 使用試薬一覧のとおり	
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH BOD SS その他 ※排出の恐れのある生活環境項目 有害物質28項目 ※有害物質28項目については、使用しているもの（使用試薬に含有されているもの）について記載する。				
汚水等の量 (m^3 /日)		通常	最大	通常	最大
		1.0	1.3	0.5	0.7
その他参考となるべき事項				有害物質を含む洗浄水等は回収し、産廃委託処理	

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号									
処理施設の設置場所									
設置年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
工事着手予定年月日		令和〇年 月 日		令和〇年 月 日		令和〇年 月 日		令和〇年 月 日	
工事完成予定年月日		令和〇年 月 日		令和〇年 月 日		令和〇年 月 日		令和〇年 月 日	
使用開始予定年月日		令和〇年 月 日		令和〇年 月 日		令和〇年 月 日		令和〇年 月 日	
種類及び型式									
構造									
主要寸法									
能力									
処理の方式									
集水及び導水の方法									
使用時間間隔									
使用の季節変動									
消耗資材の1日当たりの用途別使用量									
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH BOD (mg/L) SS (mg/L) その他 ※排出の恐れのある生活環境項目 有害物質28項目 ※有害物質28項目については、使用しているもの（使用試薬に含有されているもの）について記載する。								
	量 (m ³ /日)								
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法									
排出水の排出方法									
その他参考となるべき事項		処理施設等なし							

備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水にかかる排水基準に定められた事項について記載すること。

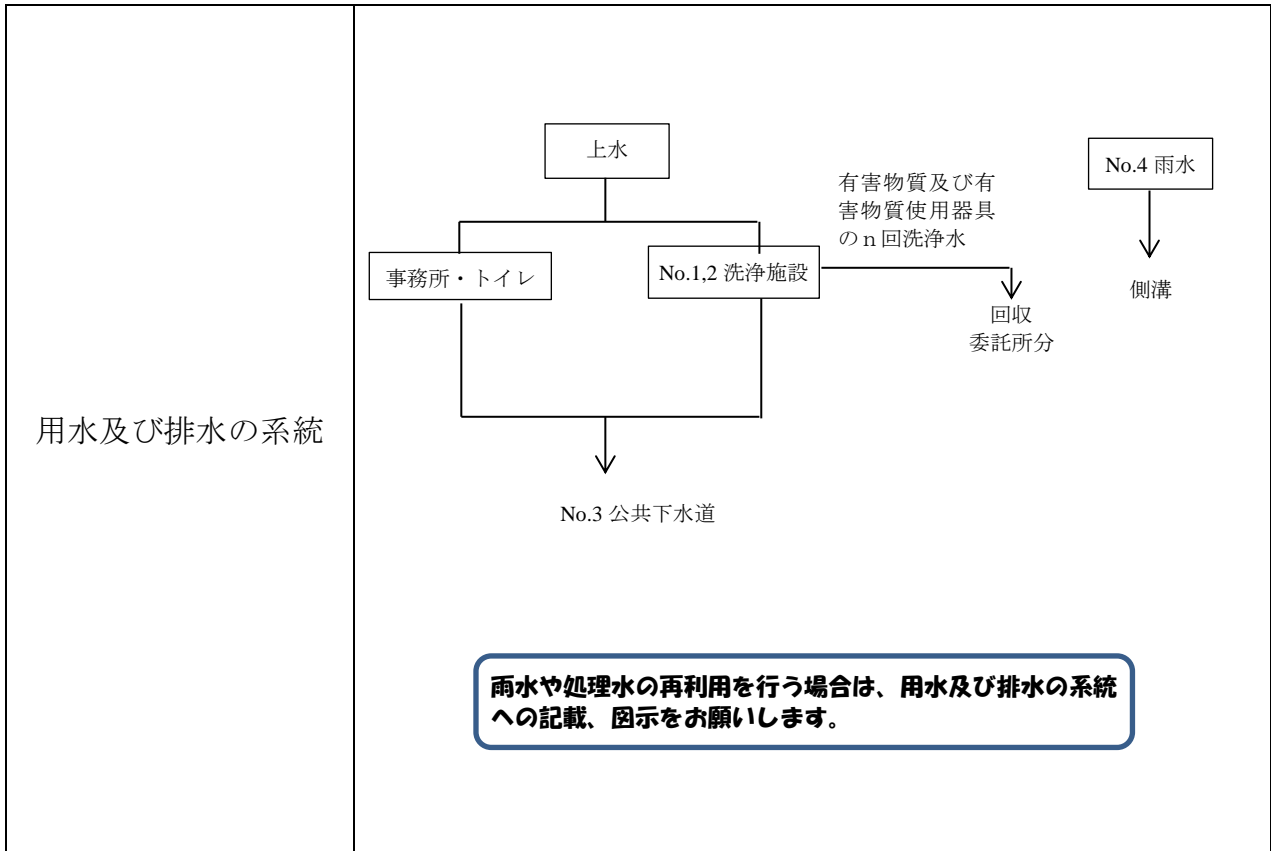
2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		No. 3 公共下水道		No. 4 雨水	
排水水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
		pH BOD (mg/L) SS (mg/L) その他 ※排出の恐れのある生活環境項目 有害物質 28 項目 ※有害物質 28 項目については、使用しているもの (使用試薬に含有されているもの) について記載する。			
排水水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		2.0	3.0	0	
その他参考となるべき事項		上記汚水については公共下水道へ排出。		雨水排出口 ○箇所	

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

用水及び排水の系統



用途別 用水使用量	用途	使用水	用水使用量 (m ³ /日)
	生活用水 (給湯・トイレ等)	上水	0.5 (最大 1.0)
	検査室洗浄水	上水	1.5 (最大 2.0)

届出に関する留意点

○平面図中には有害物質を使用する場所について記載をお願いします。

(特定施設に関わらない場所でも有害物質を使用する場所は記載してください。)

○使用する有害物質については、使用する部屋ごとに記載してください(施設廃止時の土壌汚染調査の際に必要な資料となります)。

○排水配管図において、有害物質に係るものについては色分けを行うなど、通常の排水管と区別してください。

○使用薬剤リストについて、有害物質が不純物として含まれているものについては記載不要です(例:不純物として砒素・ふっ素・ほう素等を含む海水など)。

○有害物質使用特定施設等については、必要に応じ、下記の書類も提出してください。

(1) 特定施設及び特定施設に付帯する施設(配管、防液堤等)の仕様書、カタログ、設計図面等

(2) 排水処理施設(有害物質使用特定施設等以外の排水を処理する除害施設を含む)の機能がわかる仕様書、カタログ、設計図面等

(3) 漏えい検知装置が設置されている場合は、全体の配置図と部分詳細図

(4) 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設に係る点検方法等の概要

(5) 有害物質使用の有無のリスト又は使用試薬一覧

(6) 施設管理要領(廃液の取扱い、点検頻度、点検箇所等を含む)マニュアル

別紙1

別紙構造図

○シンクのカatalogや図面等を添付してください。

別添配置図

○施設全体の平面図と特定施設、水処理施設の設置場所がわかる地図等を添付してください。

排水配管図においては、有害物質に係るものについては色分けを行うなど、通常の排水管と区別してください

別紙1の2

○構造図について

有害物質使用特定施設に係る構造はカatalog写しの添付だけでは無く、周辺の床構造や配管の構造、トレンチの有無など詳細について記載してください。

○使用薬剤リスト

使用薬剤リストには有害物質を含むものだけでもかまいません

○カatalog

床面や配管について、薬品への耐性がわかる資料などを添付してください(材質について「ステンレス」のみではなく SUS430、SUS304、18-8 などステンレスの種類がわかるものをお願いします)

別紙3

○集水及び導水図

配置図と共用しても問題ありませんが、有害物質を含む排水が通るおそれがある管は色を変えてください。

<参考> 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設に係る点検方法等の概要例

1. 有害物質使用特定施設の概要

工場又は事業場における施設番号	特定施設の種類	使用している有害物質の種類
No.2 流し台	71の2 イ. 洗浄施設	別添使用薬剤リスト①

2. 定期点検の方法及び頻度

設備名等	基準	設備の構造	定期点検の方法	定期点検の頻度	備考
床面	A	・床面はコンクリートの上から耐薬性のある〇〇で被覆(被覆の性状は別添カタログ参照) ・周囲は吸水マットを常備し、漏えい時に迅速に回収できる体制を整備(防液堤等と同等以上の効果を有する措置)	①から③を目視で点検する。 ① 床面のひび割れ、被覆の損傷その他 異常の有無 ② 施設本体からの有害物質を含む水の漏えいの有無 ③ 吸水マット等の整備状況及び施設本体の定期点検	①1年に1回以上 ②、③〇〇(施設の規模等に応じ、1週間~1月)に1回以上	
施設本体	-	-	①及び②を目視で点検する。 ① 床面のひび割れ、被覆の損傷その他 異常の有無 ② 施設本体からの有害物質を含む水の漏えいの有無	①1年に1回以上 ②〇〇(施設の規模等に応じ、1週間~1月)に1回以上	施設の詳細については別添図面のとおり
付帯する地上配管	-	-	-	-	〇〇規定に基づき、実験器具等使用後のn次洗浄水までは回収し、産廃処理。n次洗浄水を当該施設に流すが、有害物質は含まれていないため、配管等に関する基準は適用されない。 詳細は別添〇〇規定(〇〇測定結果)のとおり。
付帯する地下配管	-	-	-	-	〇〇規定に基づき、実験器具等使用後のn次洗浄水までは回収し、産廃処理。n次洗浄水を当該施設に流すが、有害物質は含まれていないため、配管等に関する基準は適用されない。 詳細は別添〇〇規定(〇〇測定結果)のとおり。
排水溝	-	-	-	-	〇〇規定に基づき、実験器具等使用後のn次洗浄水までは回収し、産廃処理。n次洗浄水を当該施設に流すが、有害物質は含まれていないため、配管等に関する基準は適用されない。 詳細は別添〇〇規定(〇〇測定結果)のとおり。
使用の方法	-	別添管理運営要領のとおり	管理要領からの逸脱の有無及び管理要領からの逸脱に伴う有害物質を含む水の飛散、流出又は地下への浸透の有無	1年に1回以上	

<参考>有害物質等使用薬剤リスト 例

所属	○×△研究所	連絡先	098-123-4567
記入者	沖縄 太郎	部屋番号	102号室

1. 特定施設使用状況

使用者数：4人 測定項目：重金属類、窒素化合物、りん化合物等（研究内容等を記載してもよい） 使用機器等：原子吸光、赤外吸光光度計、GC-MS、LC-MS（代表的なものを記載する。）
--

2. 有害物質・生活環境項目（フェノール類等）について

有害物質の使用有無		有	無	
種類	物質	使用の有無		使用試薬名称
有害物質	カドミウム及びその化合物	○		カドミウム標準液
	シアン化合物	○		シアン標準液
	有機リン化合物	○		農薬標準液
	鉛及びその化合物	○		鉛標準液
	六価クロム化合物	○		六価クロム標準液
	ヒ素及びその化合物	○		ヒ素標準液
	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	○		水銀標準液
	ポリ塩化ビフェニル			
	トリクロロエチレン			
	テトラクロロエチレン			
	ジクロロメタン			
	四塩化炭素			
	1,2-ジクロロエタン			
	1,1-ジクロロエチレン			
	1,2-ジクロロエチレン			
	1,1,1-トリクロロエタン			
	1,1,2-トリクロロエタン			
	1,3-ジクロロプロペン			
	テトラメチルウラムジスルフィド [※] (別名チウラム)	○		農薬標準液
	2-クロロ-4,6-ビス(エチルアミノ)-s- トリアジン(別名シマジン)	○		農薬標準液
	S-4-クロロペンジル=N,N-ジエチル チオカルバマート(別名チオベンカルブ [※])	○		農薬標準液
	ベンゼン			
	セレン及びその化合物	○		セレン標準液
	ほう素及びその化合物			
	ふっ素及びその化合物	○		ふっ素標準液
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	○		アンモニア標準液、亜硝酸標準液、硝酸標準液、硝酸、アンモニア溶液、塩化アンモニウム	
塩化ビニルモノマー				
1,4-ジオキサン				
フェノール類				
銅化合物	○		銅標準液	
亜鉛化合物	○		亜鉛標準液	
鉄化合物	○		鉄標準液	
マンガン化合物	○		マンガン標準液、硫酸マンガン、過マンガン酸カリウム溶液	
クロム化合物	○		クロム標準液	

3. その他（上記以外の試薬）

硫酸、塩酸、メタノール、エタノール、クロロホルム、アセトン、アセトニトリル、イソプロパノール、ヘキサン、りん標準液、アスコルビン酸ナトリウム、ジフェニルカルバジド、ヨウ化カリウム

様式第6 (第7条関係)

特定施設 (有害物質貯蔵指定施設) 使用廃止届出書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇保健所長殿

沖縄県〇〇市〇〇-〇-〇

医療法人〇〇会〇〇病院 理事長 沖縄 太郎

届出者 電話番号 (098-〇〇〇-〇〇〇)

担当者 (〇〇)

特定施設 (有害物質使用特定施設、有害物質貯蔵指定施設) の使用を廃止したので、水質汚濁防止法第10条の規定により、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇病院	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	沖縄県〇〇市〇〇-〇-〇	※受理年月日	年 月 日
特定施設の種別	68の2 病院 イ、ロ、ハ 72 し尿処理施設	※施設番号	
特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設置場所	別紙のとおり	※備考	
使用廃止の年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇		
使用廃止の理由	病院の移転・新築		

**有害物質使用特定施設・貯蔵施設の場合は、
土壤汚染対策法による調査地点を確認する
必要がありますので、設置届出書に添付した施
設配置図を添付して下さい。
また、複数の施設のうち、一部の廃止を行う
場合は、廃止する施設を明確に示して下さい。**

備考 1 水質汚濁防止法第5条第3項の規定によ
る場合は、この種類の欄には記載しないこと。

2 **施設を更新し、新しいものにする場
合、施設の廃止と設置届出が必要な
場合がありますので、最寄りの保健
所までご相談下さい**

3 すること。

氏 名 等 変 更 届 出 書

変更後の代表者や会社名
で記載して下さい

令和〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇保健所長 殿

変更が無い部分は二重線で
消してください

届出者

沖縄県〇〇市〇〇-〇-〇

〇〇株式会社 〇〇ホテル

代表取締役 沖縄 太郎

電話番号 (098-〇〇〇-〇〇〇)

担当者 (〇〇)

氏名(名称、住所、所在地)に変更があつたので、水質汚濁防止法第10条の規定により、次のとおり届け出ます。

変更の内容	変更前	△△ホテル 代表取締役 沖縄 父太郎	※整理番号	
	変更後	〇〇ホテル 代表取締役 沖縄 太郎	※受理年月日	
変更年月日		令和〇〇年〇〇月〇〇日	※施設番号	
変更の理由		事業所名称の変更 代表者の変更	※備考	

- 備考 1 ※印の欄には、記載しないこと。
2 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

<参考事項>

工事又は事業場の名称	△△ホテル(変更前)
工場又は事業場の所在地	沖縄県〇〇市〇〇-〇-〇

(氏名等変更届出書)

氏 名 等 変 更 届 出 書

令和 年 月 日

〇〇 保健所長 殿

届出者 沖縄県〇〇市〇〇-〇-〇
クリーンセンター△
代表取締役 沖縄 太郎
電話番号 (098-〇〇〇-〇〇〇)
担当者 (〇〇)

**変更後の代表者や会社名
で記載して下さい**

**該当する法律にチェックを
入れてください。**

- 氏名(名称、住所、所在地)に変更があったので、
- 大気汚染防止法第11条(第17条の13第2項、第18条の13第2項及び第18条の36第2項において準用する場合を含む。)
 - 水質汚濁防止法第10条
 - ダイオキシン類対策特別措置法第18条

代表取締役 沖縄 太郎

の規定により、次のとおり届け出ます。

変更の内容	変更前	代表取締役 沖縄花子	※ 整 理 番 号	
	変更後	代表取締役 沖縄太郎	※ 受 理 年 月 日	年 月 日
変 更 年 月 日		令和〇〇年〇〇月〇日	※ 施 設 番 号	
変 更 の 理 由		代表者の変更	※ 備 考	

- 備考 1 ※印の欄には、記載しないこと。
2 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

<参考事項>

工事又は事業場の名称	クリーンセンター△
工場又は事業場の所在地	沖縄県〇〇市〇〇-〇-〇

承 継 届 出 書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

承継を行う前の名称を記載して下さい、変更する場合は、別途変更届出も必要です

届出者 沖縄県〇〇市〇〇-〇-〇
〇〇株式会社 〇〇ホテル
代表取締役 沖縄 太郎
電話番号 (098-〇〇〇-〇〇〇)
担当者 (〇〇)

特定施設(有害物質貯蔵指定施設)に係る届出者の地位を継承する場合は、水質汚濁防止法第11条第3項の規定により、次のとおり届け出ます。

複数ある施設のうち、一部を承継する場合は、配置図等を添付し、承継する施設を明確に示して下さい

工場又は事業場の名称	××ホテル	※	
工場又は事業場の所在地	〇〇市〇〇-〇-〇	※	
特定施設の種類	66-3 イ・ハ 旅館業	※施設	
特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設置場所	別紙のとおり	※	考
承継の年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日		
被承継者	氏名又は名称	△△株式会社	
	住所	〇〇市〇〇-〇-〇	
承継の原因	ホテル経営権の譲渡		

前の特定施設所有者・管理者等を記載して下さい

- 備考
- 1 水質汚濁防止法第5条第3項の規定による届出のあつた施設の承継の届出である場合には、特定施設の種類の欄には記載しないこと。
 - 2 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 3 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

承 継 届 出 書

年 月 日

〇〇保健所長 殿

**該当する法律にチェックを入れてください。
また、不要な条文は二重線で消してください**

届出者 沖縄県〇〇市〇〇-〇-〇
株式会社 〇〇
代表取締役 沖縄 花子
電話番号 (098-〇〇〇-〇〇〇)
担当者 (〇〇)

- ~~ばい煙発生施設 (揮発性有機化合物排出施設、~~
- ~~一般粉じん発生施設、特定粉じん発生施設、~~
- ~~水銀排出施設設置)~~
- 特定施設

に係る届出者の地位を継承したので、

- ~~大気汚染防止法第12条第3項 (第17条の13第2項、~~
- ~~第18条の13第2項及び第18条の36第2項~~
- ~~において準用する場合を含む。)~~
- 水質汚濁防止法第11条第3項
- ~~ダイオキシン類対策特別措置法第19条第3項~~

の規定により、次のとおり届け出ます。

**承継を行う前の名称を記載し
て下さい、変更する場合は、
別途変更届出も必要です**

工場又は事業場の名称	××ホテル		※
工場又は事業場の所在地	沖縄県〇〇市〇-〇-〇		※
{ 施設 特定施設 } の種類	66-3 イ・ハ 旅館業		※
{ 施設 特定施設 } の設置場所	別紙のとおり		※ 備考
承継の年月日	令和〇年〇月〇日		
被承継者	氏名又は名称	株式会社△△	
	住所	沖縄県〇〇町〇-〇-〇	
承継の原因	事業譲渡のため		

**複数ある施設のうち、一部を
承継する場合は、配置図等を
添付し、承継する施設を明確
に示して下さい**

**前の特定施設所有者・管理
者等を記載して下さい**

備考 1 ※印の欄には、記載しないこと。
2 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

様式第1（第3条関係）（表面）

特定施設（有害物質貯蔵指定施設）設置（使用、変更）届出書

年 月 日

保健所長 殿

届出者 氏名又は名称及び住所並びに法人にあつてはその代表者の氏名

水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項（第6条第1項又は第2項、第7条）の規定により、特定施設（有害物質貯蔵指定施設）について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称			※整理番号	
工場又は事業場の所在地			※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類		※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	※審査結果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考	
	△特定施設の設備(有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。		
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。			
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類			
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。		

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排出水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号		
特定施設番号及び名称		
型 式		
構 造		
主 要 寸 法		
能 力		
配 置		
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

- 備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。
- 2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

特定施設の設備

工場又は事業場における施設番号		
特定施設番号及び名称		
設備		
構造		
主要寸法		
配置		
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。

2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号					
特定施設号番号及び名称					
設置場所					
操業の系統					
使用時間間隔					
1日当たりの使用時間					
使用の季節的変動					
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量					
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
汚水等の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号									
処理施設の設置場所									
設置年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
工事着手予定年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
工事完成予定年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
使用開始予定年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
種類及び型式									
構 造									
主 要 寸 法									
能 力									
処理の方式									
処理の系統									
集水及び導水の方法									
使用時間間隔									
使用の季節変動									
消耗資材の1日当たりの用途別使用量									
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通 常		最 大		通 常		最 大	
		処 理 前	処 理 後	処 理 前	処 理 後	処 理 前	処 理 後	処 理 前	処 理 後
	量 (m ³ /日)								
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法									
排出水の排出方法									
その他参考となるべき事項									

- 備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水にかかる排水基準に定められた事項について記載すること。
- 2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号					
排水水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
排水水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
その他参考となるべき事項					

備考 排水水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

					指定項目の別					※	
特定排水水	業種 その他の 区分	汚染状態 (mg/L)		水 量 (m ³ /日)					汚濁負荷量 (kg/日)		
		通常	最大	通常	最大	Q _{co}	Q _{ci}	Q _{cj}	通常		最大
合 計											
特定排水水以外の排水水	種類及 び用途	汚染状態 (mg/L)		水 量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)					
		通常	最大	通常	最大	通常	最大				
合 計											
その他 参考と 事項											

- 備考 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
- 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
- 3 窒素含有量について記載する場合には、「Q_{co}」を「Q_{no}」と、「Q_{ci}」を「Q_{ni}」と読み替え、「Q_{cj}」の項には記載しないこと。
- 4 リン含有量について記載する場合には、「Q_{co}」を「Q_{po}」と、「Q_{ci}」を「Q_{pi}」と読み替え、「Q_{cj}」の項には記載しないこと。
- 5 ※印の欄には記載しないこと。

用水及び排水の系統

用水及び排水の系統			
用途別 用水使用量	用途	使用水	用水使用量 (m ³ /日)

有害物質使用特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号		
特定施設番号及び名称		
型 式		
構 造		
主 要 寸 法		
能 力		
配 置		
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 1 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

有害物質使用特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号					
特定施設号番号及び名称					
設 置 場 所					
操業の系統					
使用時間間隔					
1日当たりの使用時間					
使用の季節的変動					
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量					
汚水等の汚染状態	種 類	通 常	最 大	通 常	最 大
汚水等の量 (m ³ /日)		通 常	最 大	通 常	最 大
その他参考となるべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、有害物質による汚染状態について記載すること。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号									
処理施設の設置場所									
設置年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
工事着手予定年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
工事完成予定年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
使用開始予定年月日		年 月 日		年 月 日		年 月 日		年 月 日	
種類及び型式									
構 造									
主 要 寸 法									
能 力									
処理の方式									
処理の系統									
集水及び導水の方法									
使用時間間隔									
1日当たりの使用時間									
使用の季節変動									
消耗資材の1日当たりの用途別使用量									
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通 常		最 大		通 常		最 大	
		処 理 前	処 理 後	処 理 前	処 理 後	処 理 前	処 理 後	処 理 前	処 理 後
	量 (m ³ /日)								
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法									
その他参考となるべき事項									

備考 汚水等の汚染状態の欄には、有害物質による汚染状態について記載すること。

特定地下浸透水の浸透の方法

浸透施設の位置									
浸透施設の数									
浸 透 水	工場又は事業場 における施設番号								
	量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
その他参考となるべき事項									

特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統

用水及び排水の系統			
用途別 用水使用量	用途	使用水	用水使用量 (m ³ /日)

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の構造

工場又は事業場における施設番号		
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別		
型 式		
構 造		
主 要 寸 法		
能 力		
配 置		
床 面 及 び 周 囲		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工 事 着 手 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工 事 完 成 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の設備

工場又は事業場における施設番号		
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別		
設 備		
構 造		
主 要 寸 法		
配 置		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工 事 着 手 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工 事 完 成 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備の配置を記載すること。

有害物質使用特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		
有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別		
設 置 場 所		
操 業 の 系 統		
使 用 時 間 間 隔		
1日当たりの使用時間		
使用の季節的変動		
原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量（有害物質使用特定施設の場合に限る。）		
貯蔵する有害物質の種類（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）		
その他参考となるべき事項		

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、使用時間間隔の欄及び1日当たりの使用時間の欄には、それぞれ当該施設への有害物質を含む水の供給時における当該施設の使用時間間隔及び使用時間を記載すること。

用水及び排水の系統（搬入及び搬出の系統）

<p>施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統（有害物質使用特定施設の場合に限る。）又は貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）</p>			
<p>用途別用水量</p>	<p>用 途</p>	<p>使 用 水</p>	<p>用水量(m³/日)</p>

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、用途別用水量の欄には記載しないこと。

様式第5（第7条関係）

氏名等変更届出書

年 月 日

保健所長 殿

届出者 氏名又は名称及び住所並びに法人にあつてはその代表者の氏名

氏名（名称、住所、所在地）に変更があつたので、水質汚濁防止法第10条の規定により、次のとおり届け出ます。

変更の内容	変更前		※整理番号	
	変更後		※受理年月日	年 月 日
変更年月日	年 月 日	年 月 日	※施設番号	
変更の理由			※備考	

- 備考 1 ※印の欄には、記載しないこと。
2 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

<参考事項>

工事又は事業場の名称	
工場又は事業場の所在地	

様式第6（第7条関係）

特定施設（有害物質貯蔵指定施設）使用廃止届出書

年 月 日

保健所長 殿

届出者 氏名又は名称及び住所並びに法人にあつてはその代表者の氏名

特定施設（有害物質貯蔵指定施設）の使用を廃止したので、水質汚濁防止法第10条の規定により、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※整理番号	
工場又は事業場の所在地		※受理年月日	年 月 日
特定施設の種類		※施設番号	
特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設置場所		※備考	
使用廃止の年月日	年 月 日		
使用廃止の理由			

備考 1 水質汚濁防止法第5条第3項の規定による届出のあつた施設の使用廃止の届出である場合には、特定施設の種類欄には記載しないこと。

2 ※印の欄には、記載しないこと。

3 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

承 継 届 出 書

年 月 日

保健所長 殿

届出者 氏名又は名称及び住所並びに法人にあつてはその代表者の氏名

特定施設（有害物質貯蔵指定施設）に係る届出者の地位を承継したので、水質汚濁防止法第11条第3項の規定により、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称			※整理番号	
工場又は事業場の所在地			※受理年月日	年 月 日
特定施設の種 類			※施設番号	
特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設置場所			※備 考	
承 継 の 年 月 日		年 月 日		
被承継者	氏名又は名称			
	住 所			
承 継 の 原 因				

- 備考 1 水質汚濁防止法第5条第3項の規定による届出のあつた施設の承継の届出である場合には、特定施設の種類の欄には記載しないこと。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

氏名等変更届出書

年 月 日

保健所長 殿

届出者 氏名又は名称及び住所並びに法人に
あつてはその代表者の氏名

氏名（名称、住所、所在地）に変更があつたので、

- 大気汚染防止法第 11 条（第 17 条の 13 第 2 項、
第 18 条の 13 第 2 項及び第 18 条の 36 第 2 項
において準用する場合を含む。）
- 水質汚濁防止法第 10 条
- ダイオキシン類対策特別措置法第 18 条

の規定により、次のとおり届け出ます。

変更の内容	変更前		※ 整 理 番 号	
	変更後		※ 受 理 年 月 日	年 月 日
変 更 年 月 日		年 月 日	※ 施 設 番 号	
変 更 の 理 由			※ 備 考	

- 備考 1 ※印の欄には、記載しないこと。
2 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

<参考事項>

工事又は事業場の名称	
工場又は事業場の所在地	

承 継 届 出 書

年 月 日

保健所長 殿

届出者 氏名又は名称及び住所並びに法人に
あつてはその代表者の氏名

- ばい煙発生施設（揮発性有機化合物排出施設、
一般粉じん発生施設、特定粉じん発生施設、
水銀排出施設設置）
- 特定施設

に係る届出者の地位を継承したので、

- 大気汚染防止法第12条第3項（第17条の13第2項、
第18条の13第2項及び第18条の36第2項
において準用する場合を含む。）
- 水質汚濁防止法第11条第3項
- ダイオキシン類対策特別措置法第19条第3項

の規定により、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※ 整 理 番 号	
工場又は事業場 の所在地		※ 受 理 年 月 日	年 月 日
<input type="checkbox"/> 施設 <input type="checkbox"/> 特定施設 } の種類		※ 施 設 番 号	
<input type="checkbox"/> 施設 <input type="checkbox"/> 特定施設 } の設置場所		※ 備 考	
承 継 の 年 月 日		年 月 日	
被承継者	氏名又は名称		
	住 所		
承 継 の 原 因			

- 備考 1 ※印の欄には、記載しないこと。
2 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

水 質 測 定 記 録 表

排水の汚染状態（特定地下浸透水の汚染状態）

測定年月日 及び時刻	測定場所		特定施設の 使用状況	採水者	分析者	測定項目				備考
	名称	排水量 (m ³ /日)								

- 備考
- 1 採水の年月日と分析の年月日が異なる場合には、備考欄にこれを明示すること。
 - 2 排水の汚染状態及び特定地下浸透水の汚染状態は、分けて記載すること。